

**ASUS<sup>®</sup>**

**P3-P5G33**

ASUS PC (デスクトップ ベアボーン)



ASUS Web サイト ([www.asus.co.jp](http://www.asus.co.jp)) より最新の  
ユーザーマニュアルをダウンロードしてください。

J3280

初版第 1 刷

2007年10月

Copyright © 2007 ASUSTeK COMPUTER INC. All Rights Reserved.

バックアップの目的で利用する場合を除き、本書に記載されているハードウェア・ソフトウェアを含む、全ての内容は、ASUSTeK Computer Inc. (ASUS)の文書による許可なく、編集、転載、引用、放送、複写、検索システムへの登録、他言語への翻訳などを行うことはできません。

以下の場合、保証やサービスを受けることができません。

- (1) ASUSが明記した方法以外で、修理、改造、交換した場合。
- (2) 製品のシリアル番号が読むことができない状態である場合。

ASUSは、本マニュアルについて、明示の有無にかかわらず、いかなる保証もいたしません。ASUSの責任者、従業員、代理人は、本書の記述や本製品に起因するいかなる損害(利益の損失、ビジネスチャンスの遺失、データの損失、業務の中断などを含む)に対して、その可能性を事前に指摘したかどうかに関りなく、責任を負いません。

本書の仕様や情報は、個人の使用目的にのみ提供するものです。また、予告なしに内容は変更されることがあり、この変更についてASUSはいかなる責任も負いません。本書およびハードウェア、ソフトウェアに関する不正確な内容について、ASUSは責任を負いません。

本マニュアルに記載の製品名及び企業名は、登録商標や著作物として登録されている場合がありますが、本書では、識別、説明、及びユーザーの便宜を図るために使用しており、これらの権利を侵害する意図はありません。

# もくじ

ご注意 .....	vi
安全上のご注意 .....	vii
このマニュアルについて .....	viii
パッケージの内容 .....	x

## Chapter 1: システムの概要

1.1 ようこそ .....	1-2
1.2 フロントパネル .....	1-2
1.3 リアパネル .....	1-4
1.4 内部コンポーネント .....	1-6

## Chapter 2: 基本取り付け

2.1 準備 .....	2-2
2.2 始める前に .....	2-2
2.3 カバーを取り外す .....	2-3
2.3.1 システムカバーを取り外す .....	2-3
2.3.2 フロントパネルアッセンブリーを取り外す .....	2-4
2.4 CPU の取り付け .....	2-5
2.4.1 CPU を取り付ける .....	2-5
2.4.2 CPU にヒートシンクとファンを取り付ける .....	2-8
2.5 メモリを取り付ける .....	2-10
2.5.1 メモリ構成 .....	2-10
2.5.2 メモリを取り付ける .....	2-13
2.5.3 メモリを取り外す .....	2-13
2.6 拡張カードを取り付ける .....	2-14
2.6.1 拡張スロット .....	2-14
2.6.2 拡張カードの取り付け .....	2-14
2.7 光学ドライブを取り付ける .....	2-17
光学ドライブを取り外す .....	2-18
2.8 カードリーダーを取り外す .....	2-19
2.9 ハードディスクドライブ (HDD) を取り付ける .....	2-20
2.9.1 ハードディスクドライブベイ .....	2-20
2.9.2 SATA ハードディスクドライブを取り付ける .....	2-20
2.9.3 IDE ハードディスクドライブを取り付ける .....	2-22
2.9.4 ハードディスクドライブを取り外す .....	2-22

# もくじ

2.10	カバーを再び取り付け	2-23
2.10.1	フロントパネルアッセンブリーを再び取り付け	2-23
2.10.2	システムカバーを再び取り付け	2-24
2.11	フットスタンドを取り付け	2-25
2.12	電圧を選択する	2-26

## Chapter 3: 起動

3.1	OSをインストールする	3-2
3.2	サポート CD 情報	3-2
3.2.1	サポート CD を実行する	3-2
3.2.2	ドライバメニュー	3-3
3.2.3	ユーティリティメニュー	3-4
3.2.4	マニュアルメニュー	3-6
3.2.5	コンタクトインフォメーション	3-6
3.2.6	その他の情報	3-7

## Chapter 4: マザーボード情報

4.1	マザーボードの概要	4-2
4.2	ジャンパ	4-3
4.3	コネクタ	4-5
4.3.1	リアパネルコネクタ	4-5
4.3.2	内部コネクタ	4-5

## Chapter 5: BIOSのセットアップ

5.1	BIOS 管理更新	5-2
5.1.1	ASUS Update	5-2
5.1.2	ブートフロッピーディスクを作成する	5-5
5.1.3	ASUS EZ Flash 2	5-6
5.1.4	AFUDOS	5-7
5.1.5	ASUS CrashFree BIOS 3	5-9
5.2	BIOS 設定プログラム	5-10
5.2.1	BIOS メニュー画面	5-11
5.2.2	メニューバー	5-11
5.2.3	ナビゲーションキー	5-11
5.2.4	メニュー	5-12
5.2.5	サブメニュー	5-12

5.2.6	構成フィールド .....	5-12
5.2.7	ポップアップウィンドウ .....	5-12
5.2.8	スクロールバー .....	5-12
5.2.9	ヘルプ .....	5-12
<b>5.3</b>	<b>メインメニュー .....</b>	<b>5-13</b>
5.3.1	System Time .....	5-13
5.3.2	System Date .....	5-13
5.3.3	Legacy Diskette A .....	5-13
5.3.4	SATA 1 - 4, PATA Primary Master/Slave .....	5-14
5.3.5	IDE Configuration .....	5-15
5.3.6	システム情報 .....	5-16
<b>5.4</b>	<b>拡張メニュー .....</b>	<b>5-17</b>
5.4.1	CPU の設定 .....	5-17
5.4.2	チップセット .....	5-18
5.4.3	オンボードデバイス設定構成 .....	5-20
5.4.4	PCI/PnP .....	5-21
5.4.5	USB 設定 .....	5-22
<b>5.5</b>	<b>電源メニュー .....</b>	<b>5-23</b>
5.5.1	Suspend Mode .....	5-23
5.5.2	Repost Video on S3 Resume .....	5-23
5.5.3	ACPI Version .....	5-23
5.5.4	ACPI APIC Support .....	5-23
5.5.5	APM の設定 .....	5-24
5.5.6	ハードウェアモニタ .....	5-25
<b>5.6</b>	<b>ブートメニュー .....</b>	<b>5-27</b>
5.6.1	ブートデバイスの優先順位 .....	5-27
5.6.2	起動設定 .....	5-28
5.6.3	セキュリティ .....	5-29
<b>5.7</b>	<b>ツールメニュー .....</b>	<b>5-31</b>
5.7.1	ASUS EZ Flash 2 .....	5-31
5.7.2	AI Net 2 .....	5-32
<b>5.8</b>	<b>終了メニュー .....</b>	<b>5-33</b>

## ご注意

### Federal Communications Commission Statement (原文)

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause harmful interference, and
- This device must accept any interference received including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with manufacturer's instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment to an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.



---

**WARNING!** The use of shielded cables for connection of the monitor to the graphics card is required to assure compliance with FCC regulations. Changes or modifications to this unit not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate this equipment.

---

### Canadian Department of Communications Statement

This digital apparatus does not exceed the Class B limits for radio noise emissions from digital apparatus set out in the Radio Interference Regulations of the Canadian Department of Communications.

**This class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.**

# 安全上のご注意

## 電気の取り扱い

- 作業を行う場合は、感電防止のため、電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。
- 本製品に周辺機器を接続する場合は、本製品および周辺機器の電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。可能ならば、関係するすべての機器の電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。
- 電源装置の修理は販売代理店などに依頼してください。

## 操作上の注意

- 作業を行う前に、本製品に付属のマニュアルを全て熟読してください。
- 電源を入れる前に、ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。また電源コードに損傷がないことを確認してください。
- マザーボード上にクリップやネジなどの金属を落とさないようにしてください。回路のショート等の原因になります。
- 埃・湿気・高温・低温を避けてください。湿気のある場所で本製品を使用しないでください。本製品は安定した場所に設置してください。
- 本製品を修理する場合は、販売代理店などに依頼してください。

### リチウムイオンバッテリー

CAUTION: Danger of explosion if battery is incorrectly replaced. Replace only with the same or equivalent type recommended by the manufacturer. Dispose of used batteries according to the manufacturer's instructions.

VORSICHT: Explosionsgefahr bei unsachgemäßen Austausch der Batterie. Ersatz nur durch denselben oder einem vom Hersteller empfohlenem ähnlichen Typ. Entsorgung gebrauchter Batterien nach Angaben des Herstellers.

### レーザー製品

### クラス 1 レーザー製品

# このマニュアルについて

## 対象読者

本書は、本製品に関する全般情報とインストールの指示について説明しています。本書は上級ユーザーを対象にしています。

## 本書の構成

本書は次の章から構成されています。

### 1. Chapter 1: システムの概要

本製品の概要。フロントパネルとリアパネル、および内部コンポーネントなどの、システムの各機能を紹介します。

### 2. Chapter 2: 基本取り付け

システムのコンポーネントを取り付ける方法の説明です。

### 3. Chapter 3: 起動

システムの電源を入れ、サポートCDからドライバやユーティリティをインストールする方法を説明します。

### 4. Chapter 4: マザーボード情報

付属のマザーボードについての情報と、マザーボードのレイアウト、ジャンパ設定、コネクタの位置などの説明です。

### 5. Chapter 5: BIOS のセットアップ

BIOSセットアップメニューでのシステム設定、変更方法、BIOSパラメータの説明です。



## このマニュアルの表記について



危険/警告: 本製品を取扱う上で、人体への危険を避けるための情報です。



注意: 本製品を取扱う上で、コンポーネントへの損害を避けるための情報です。



重要: 本製品を取扱う上で、必要な指示です。



注記: 本製品を取扱う上でのヒントと追加情報です。

## 詳細情報

本書に記載できなかった最新の情報は以下で入手することができます。また、BIOSや添付ソフトウェアの最新版があります。必要に応じてご利用ください。

### 1. ASUS Webサイト (<http://www.asus.co.jp/>)

各国や地域に対応したサイトを設け、ASUSのハードウェア・ソフトウェア製品に関する最新情報が満載です。

### 2. 追加ドキュメント

パッケージ内容によっては、追加のドキュメントが同梱されている場合があります。注意事項や購入店・販売店などが追加した最新情報などです。これらは、本書がサポートする範囲には含まれていません。

# パッケージの内容

P3-P5G33 のパッケージに以下のものが揃っていることを確認してください。



付属品が足りないときや破損しているときは、販売店様にご連絡ください。

パッケージの内容	
<b>1. ASUS P3-P5G33 ペアボーンシステムの付属品</b>	
	・ASUS マザーボード
	・220 W PFC 電源装置
	・6-in-1 ストレージカードリーダー
<b>2. アクセサリー</b>	
	・フットスタンドとネジ (1 ペア) (縦に置く場合)
	・ラバースタンド (× 4) (横に置く場合)
	・HDD用ネジ (× 8)
	・光学ドライブ用ネジ (× 2)
	・ラバーワッシャー (× 8)
<b>3. ケーブル</b>	
	・AC 電源コード
	・Serial ATA ケーブル (× 2)
	・IDE ケーブル (× 1)
<b>4. サポート CD、リカバリ Pro CD</b>	
<b>5. ユーザーマニュアル (本書)</b>	

# Chapter 1

本製品の概要。フロントパネルとリア  
パネル、および内部コンポーネント  
などの、システムの各機能を紹介



ASUS P3-P5G33

システムの概要

## 1.1 ようこそ

ASUS P3-P5G33 をお買い上げいただき、ありがとうございます。

ASUS P3-P5G33 は、パワフルで扱いやすいオールインワンベアボーンシステムです。

本製品は、スタイリッシュな ミニタワーケースに、775-land package 版 Intel® Pentium® 4 プロセッサと 800/1066/1333 MHz FSB と、最大 8 GB システムメモリをサポートするマザーボードを装備しています。

オーディオ能力、接続の拡張性、Fast Ethernet LANを装備したP3-P5G33 は多様化するユーザーのニーズに応えます。人間工学に基づいた設計により、縦向きにも横向きにも設置することができ、デスクのスペースを最大限活用できます。

これらの優れた設計により、P3-P5G33 は、多様なマルチメディアとコンピュータニーズに革新的技術を提供します。

## 1.2 フロントパネル

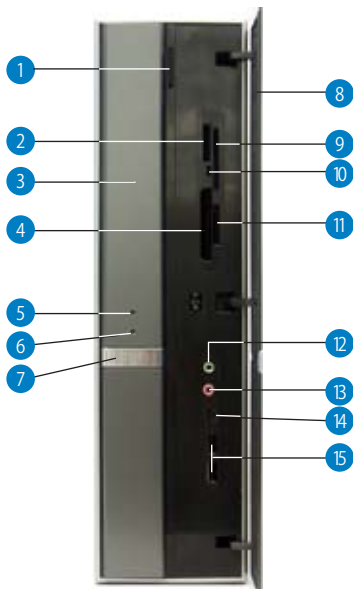
フロントパネルには フロントパネルカバー、システム及びオーディオコントロールボタン、LED が組み込まれています。





閉じた状態



フロントパネルカ  
バーを開けるには  
この部分を押し  
てください。

開けた状態



1. **光学ドライブジェクトボタン**:このボタンを押すと、光学ドライブのトレイが開きます。
2. **Memory Stick®/Memory Stick Pro™ カードスロット**: Memory Stick®/Memory Stick Pro™ ストレージカード用です。
3. **光学ドライブ/ベイカバー**:光学ドライブ/光学ドライブベイのカバーです。
4. **CompactFlash® カードスロット\* ◆**:CompactFlash® ストレージカード用です。
5. **HDD LED**:このLED はハードディスクドライブからのデータの読み込み/書き込み中に点灯します。
6. **電源LED**:システムがオンのとき、この LED が点灯します。
7. **電源スイッチ** :システム の電源をオン/オフにします。
8. **フロントパネルカバー**: 6-in-1 カードリーダーとフロントパネル I/O ポートを保護します。フロントカバーを開ける際は前項で示されている部分を押してください。
9. **SmartMedia® カードスロット\* □**: SmartMedia® ストレージカード用です。
10. **カードリーダー LED**: このLED はカードリーダースロットに挿入されたストレージカードからのデータの読み込み/書き込み中に点灯します。
11. **Secure Digital™/MultimediaCard スロット\* □s**: This slot is for a Secure Digital™/MultimediaCard ストレージカード用です。
12. **ヘッドホンポート** :ヘッドフォンを接続します。
13. **マイクポート (ピンク)** :マイクを接続します。
14. **4 ピン IEEE 1394a ポート 1394**:IEEE 1394a 対応オーディオ/ビデオデバイス、記憶装置、その他のPC デバイス用で、高速接続を実現します。
15. **USB 2.0 ポート** : マウス、プリンタ、スキャナー、カメラ、PDA等の USB 2.0 対応デバイスを接続することができます。



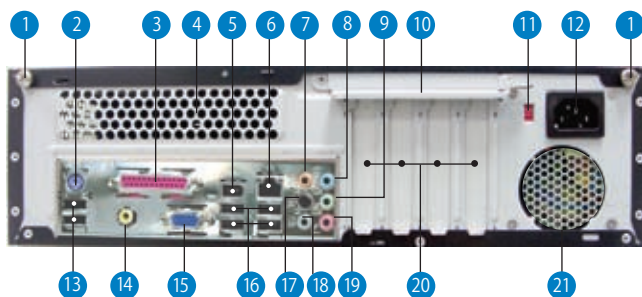

---

\*ストレージカードに付属のユーザーマニュアルに従って使用し、フォーマットしてください。



---

## 1.3 リアパネル

電源コネクタとI/O ポートが搭載されており、各デバイスを簡単に接続することができます。



1. **カバー用ネジ**:システムカバーを固定します。
2. **PS/2 キーボードポート (パープル)** : PS/2 キーボード用です。
3. **Parallel ポート** : プリンタ、スキャナー、その他のデバイスを接続します。
4. **通気孔**: システムケース内部を冷却するファン用です。
5. **6 ピン IEEE 1394a ポート** : IEEE 1394a 対応オーディオ/ビデオデバイス、記憶装置、その他のPC デバイス用で、高速接続を実現します。
6. **LAN (RJ-45) ポート** : ネットワークハブを介し、LAN に Fast Ethernet 接続することができます。
7. **センター/サブウーファポート (イエローオレンジ)**: センター/サブウーファスピーカーを接続します。
8. **ライン入力ポート (ライトブルー)**: テーププレーヤーや他のオーディオソースを接続します。
9. **ライン出力ポート (ライム)**: ヘッドフォンやスピーカーを接続します。4/6/8 チャンネルモードでは、このポートはフロントスピーカー出力になります。
10. **メタルブラケットロック**: 拡張スロット / カードメタルブラケットを固定します。
11. **電圧セクター**: お使いのエリアの供給電圧に応じ、システム入力電圧を選択することができます。このスイッチを調節する前に ページ2-26「2.12 電圧を選択する」をご覧ください。
12. **電源コネクタ**: 電源ケーブルを接続します。
13. **USB 2.0 ポート** : マウス、プリンタ、スキャナー、カメラ、PDA等の USB 2.0 対応デバイスを接続することができます。

14. **コアクシアル S/PDIF 出力ポート**: コアクシアル S/PDIF ケーブルを使用して外部オーディオ出力デバイスを接続します。
15. **VGA ポート** : VGA モニタを接続します。
16. **USB 2.0 ポート** : マウス、プリンタ、スキャナー、カメラ、PDA等の USB 2.0 対応デバイスを接続することができます。
17. **サイドスピーカー出力ポート(ブラック)**: 8 チャンネルオーディオ構成でサイドスピーカーを接続します。
18. **リアスピーカー出力ポート(グレイ)**: 4/6/8 チャンネルオーディオ構成でリアスピーカーを接続します。
19. **マイクポート(ピンク)**: マイクを接続します。2/4/6/8 チャンネルモードでは、このポートはサラウンドスピーカーになります。



ライン出力/ライン入力/マイクポートの機能は、6/8 チャンネル構成を選択すると変化します。オーディオポートの機能の変化に関しては以下の表をご参照ください。

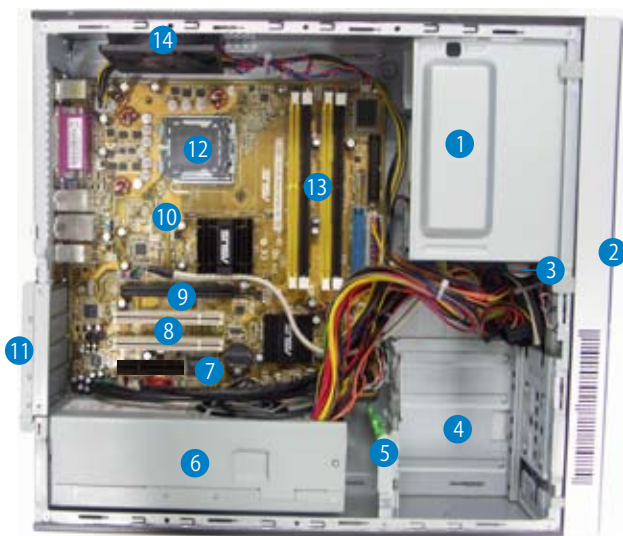
## オーディオポート機能の変化

ポート	ヘッドセット 2チャンネル	4チャンネル	6チャンネル	8チャンネル
ライトブルー	ライン入力	ライン入力	ライン入力	ライン入力
ライム	ライン出力	フロントスピーカー 出力	フロントスピーカー 出力	フロントスピーカー 出力
ピンク	マイク入力	マイク入力	マイク入力	マイク入力
グレイ	-	リアスピーカー出力	リアスピーカー出力	リアスピーカー出力
ブラック	-	-	-	サイドスピーカー 出力
イエロー/オレンジ	-	-	センター/ サブウーファ	センター/ サブウーファ

20. **拡張スロット**: 拡張ボードを取り付け、システムにメモリやグラフィックスを追加することができます。
21. **電源ファン通気孔**: 電源装置ファン用です。

## 1.4 内部コンポーネント

下の図は、トップカバーとケースサポートブラケットを取り外した時の内部構造です。取り付けるコンポーネントには、参照用に番号を表示しました。追加システムコンポーネントの取り付けに関する詳細は、Chapter2 をご覧ください。



- |                        |                         |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 5.25 インチ光学ドライブベイ    | 8. PCI スロット             |
| 2. フロントパネルカバー          | 9. PCI Express x16 スロット |
| 3. 光学ドライブロック           | 10. ASUS マザーボード         |
| 4. ハードディスクドライブベイ       | 11. メタルブラケットロック         |
| 5. ハードディスクドライブロック      | 12. LGA775 ソケット         |
| 6. 電源装置                | 13. メモリスロット             |
| 7. PCI Express x4 スロット | 14. ケースファン              |



# Chapter 2

システムのコンポーネントを取り  
付ける方法について



ASUS P3-P5G33

基本取り付け

## 2.1 準備

取り付ける前に、全てのコンポーネントが揃っているか確認してください。

### 取り付ける基本コンポーネント

1. CPU
2. DDR2 メモリ
3. 拡張カード
4. ハードディスクドライブ
5. 光学ドライブ

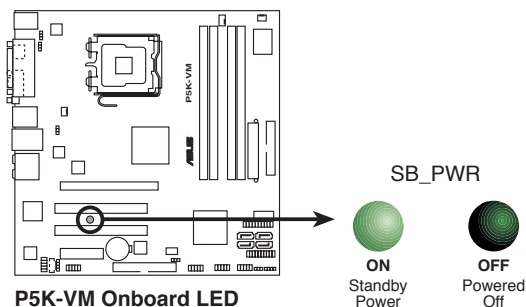
## 2.2 始める前に

コンポーネントをシステムに取り付ける前に次の事項に留意してください。



- 静電気による損傷を防ぐために、各パーツを取り扱う前に、静電気除去装置に触れるなど、静電気対策をしてください。
- ICに触れないように、各パーツは両手で端を持つようにしてください。
- 各パーツを取り外すときは、必ず静電気防止パッドの上に置か、コンポーネントに付属する袋に入れてください。

システムマザーボードにはスタンバイ LED が搭載されており、電力が供給されている間は緑のLEDが点灯します。マザーボードに各パーツを取り付け・取り外しを行う際は、システムをOFFにし、電源ケーブルを抜いてください。下のイラストは、オンボードLEDの場所を示しています。



## 2.3 カバーを取り外す

### 2.3.1 システムカバーを取り外す

手順

1. リアパネルで、カバーをケースに固定している 2 本のネジの位置を確認します。
2. カバー用ネジを取り外します。ネジは大切に保管してください。



3. カバーフックがケースから外れるまで、カバーをリアパネルの方に慎重に引きます。
4. カバーを持ち上げ、脇に置きます。



5. 拡張カードロックを 90° ~ 100° ほど持ち上げます。
6. ケースサポートブラケットを 45° ほど持ち上げ、慎重に引いて外し、脇に置きます。



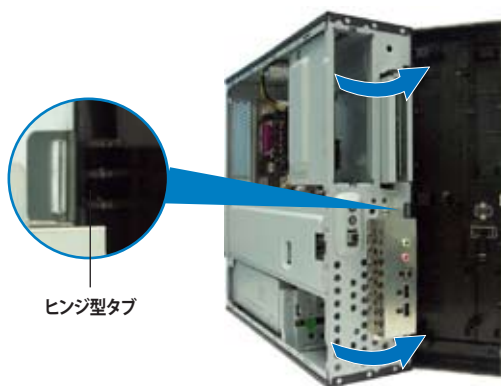
## 2.3.2 フロントパネルアッセンブリーを取り外す

### 手順

1. システムを垂直に置きます。
2. フロントパネルアッセンブリーのフックの位置を確認します。
3. フックを外側に引き、フロントパネルアッセンブリーの左側を外します。



4. フロントパネルアッセンブリーの左のエッジを下図のように開きます。
5. ケース右側にあるホールからヒンジ型のタブのフックを外し、取り外します。



フロントパネルアッセンブリーを取り外す際は、無理に強く引っ張らないでください。

## 2.4 CPUの取り付け

本マザーボードには Intel® Core™2 Quad / Core™2 Extreme / Core™2 Duo / Pentium® Extreme / Pentium® D / Pentium® 4 プロセッサ対応の LGA775 ソケットが搭載されています。

### 2.4.1 CPU を取り付ける

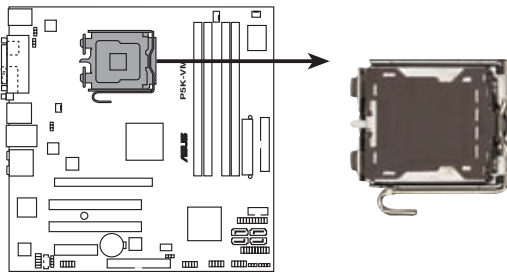


- ご購入のボックス版 Intel® Pentium® 4 LGA775 プロセッサパッケージには、CPU、ヒートシンク、固定装置を取り付けるための説明書が付属しています。このセクションの説明がCPUの説明書と一致していない場合は、CPUの説明書に従ってください。
- マザーボードを確認し、ソケットの接触部分が曲がっていないことを確認してください。ソケット接触部/マザーボードのコンポーネントにダメージが見つかった場合は、すぐに販売店までご連絡ください。ダメージが出荷及び運送が原因の場合に限り、ASUSは修理費を負担いたします。
- 製品保証は、CPU の間違った取り付け・取り外しに起因する ソケットの接触部分の損傷には適用されません。

### CPUを取り付ける

#### 手順

1. マザーボードの CPU ソケットの位置を確認します。

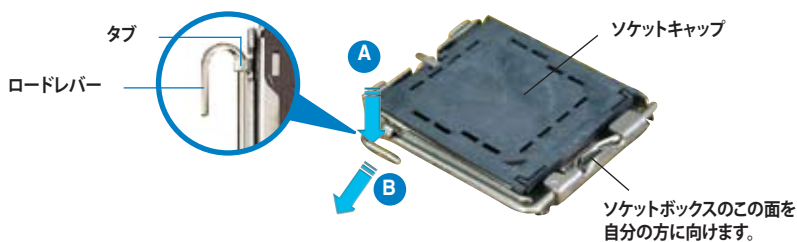


**P5K-VM CPU Socket 775**



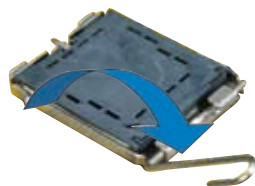
CPUを取り付ける前にCPUソケットを手前に向け、ロードレバーが向かって左側にあることを確認してください。

2. 親指でロードレバーを押し(A)、タブから外れるまで左に動かします(B)。

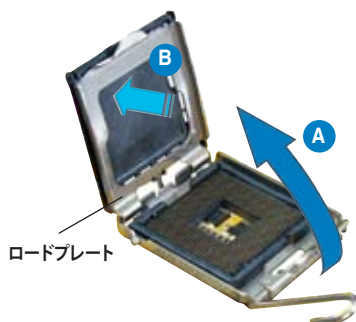


ソケットピンの損傷防止のため、ソケットキャップはCPUを取り付けるまで外さないでください。

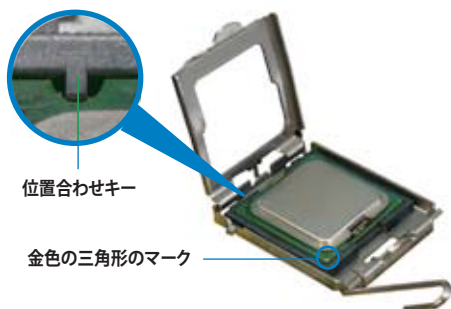
3. 矢印の方向に135° ほどロードレバーを持ち上げます。



4. ロードプレートを親指と人差し指で100° ほど持ち上げ (A)、ロードプレートウィンドウからソケットキャップを押して取り外します (B)。



5. CPU に書かれている金色の三角形がソケットの左下隅になるようにCPUをソケットの上に載せます。このとき、ソケットの位置合わせキーは、CPUの溝にぴったり合わせる必要があります。



6. ロードプレートを閉じ(A)、ロードレバー(B)がタブに収まるまで押します。



CPU は一方方向にのみぴったり合うようになっています。CPU をソケットに無理に押し込まないでください。ソケットのコネクタが曲がる、あるいはCPU が破損する等の原因となります。

## 2.4.2 CPUにヒートシンクとファンを取り付ける

Intel® Pentium® 4 LGA775 プロセッサ用に、特別に設計されたヒートシンクとファンを組み合わせることで、効率的な冷却を行いCPU パフォーマンスを引き出します。



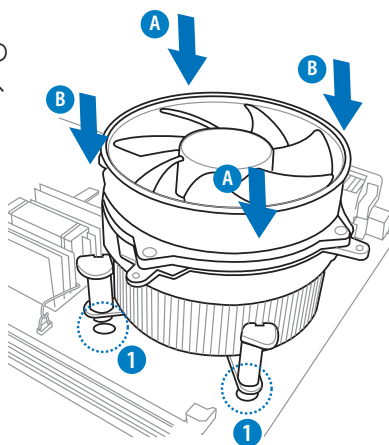
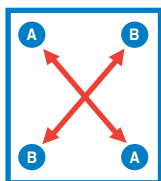
- 箱入りの Intel® Pentium® 4 プロセッサを購入した場合、パッケージにはヒートシンクとファンが入っています。CPU のみをお求めになった場合、Intel® が認定したマルチディレクションヒートシンクとファンを必ずご使用ください。
- Intel® Pentium® 4 LGA775 用のヒートシンクとファンにはプッシュピンデザインが採用されており、取り付けの際に特別な工具は必要ありません。



CPUヒートシンクとファンを別々にお買い求めになった場合は、ヒートシンクとファンを取り付ける前に、サーマルグリスをヒートシンクまたはCPUに塗布してください。

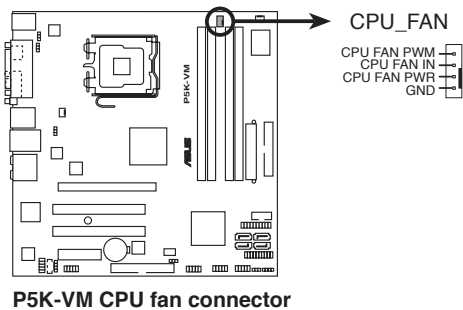
### ヒートシンクとファンの取り付け手順

1. 4つのファスナーがマザーボードの穴の位置と合っていることを確認しながら、ヒートシンクをCPUの上に置きます。
2. 対角線上にある2つのファスナーを同時に押し下げ、ヒートシンクとファンを正しい場所に固定します。





3. ヒートシンクとファンを正しい場所に固定したら、CPUファンのケーブルをマザーボード上のコネクタに接続します。



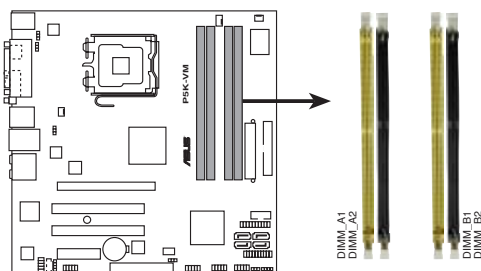
CPUファンのケーブルを必ず接続してください。ハードウェアのモニタリングエラーが発生することがあります。

## 2.5 メモリを取り付ける

本システムマザーボードには、DDR2 メモリスロットが 4 基搭載されています。

DDR2 メモリは DDR メモリと同様の大きさですが、240 ピンです (DDR メモリは 184 ピン)。DDR2 メモリは DDR メモリのスロットに取り付けることができないように、異なるノッチが付けられています。

次の図は、スロットの場所を示しています。



P5K-VM 240-pin DDR2 DIMM Slots

チャンネル	スロット
Channel A	DIMM_A1 と DIMM_A2
Channel B	DIMM_B1 と DIMM_B2

### 2.5.1 メモリ構成

256 MB、512 MB、1 GB、2 GB メモリを使用して最大 8 GB のシステムメモリを取り付けることができます。



- 推奨されている構成以外の DDR2 メモリの取り付けは、メモリのサイズのエラー、システム起動の失敗につながる場合があります。次項の表を参照し、推奨されている DDR2 メモリ をご使用ください。
- DIMM\_A と DIMM\_B には **必ず同一の** (タイプとサイズが同じもの) DDR2 メモリを取り付けてください。
- 同じ CAS レイテンシを持つメモリを取り付けてください。またメモリは同じベンダーからお求めになることをお勧めします。
- チップセットの割り当てにより、1 GB DDR2 メモリを 4 枚取り付けても、システムは 4 GB 未満のシステムメモリしか認識しません。
- 本マザーボードは 128 Mbit のメモリチップを搭載したメモリモジュールは動作保証致しかねます。また、ダブルサイド x16 メモリをサポートしていません。

# メモリの QVL (推奨ベンダーリスト)

以下の表は、本マザーボードとの使用に適した、推奨メモリのリストです。本マザーボード用の 最新のDDR2 QVLは、ASUSのWebサイト(<http://www.asus.co.jp/>)をご参照ください。

## DDR2 667

サイズ	ベンダー	モード	CL	サイド	コンポーネント	メモリ		
						A*	B*	C*
256MB	Kingston	KVR533D2N4/256	N/A	SS	E5116AB-5C-E	•	•	•
512MB	KINGSTON	D6408TEBGL3U	5	SS	KVR667D2N5/512	•	•	•
1024MB	KINGSTON	D6408TEBGL3U	5	DS	KVR667D2N5/1G	•	•	•
256MB	KINGSTON	HYB18T256800AF3S	5	SS	KVR667D2N5/256	•	•	•
256MB	KINGSTON	6SBI2D9DCG	5	SS	KVR667D2N5/256	•	•	•
2048MB	KINGSTON	E1108AB-6E-E	N/A	DS	KVR667D2N5/2G	•	•	•
256MB	Qimonda	HYB18T512160BF-3S	5	SS	HYS64T32000HU-3S-B	•	•	
512MB	Qimonda	HYB18T512800BF3S	5	SS	HYS64T64000HU-3S-B	•	•	•
1024MB	Qimonda	HYB18T512800BF3S	5	DS	HYS64T128020HU-3S-B	•	•	•
512MB	SAMSUNG	ZCE6K4T51083QC	5	SS	M378T6553CZ0-CE6	•	•	
1024MB	SAMSUNG	ZCE6K4T51083QC	5	DS	M378T2953CZ0-CE6	•	•	
256MB	SAMSUNG	K4T51163QC-ZCE6	5	SS	M378T3354CZ3-CE6	•	•	•
512MB	SAMSUNG	K4T51083QC	5	SS	M378T6553CZ3-CE6			•
1024MB	SAMSUNG	ZCE6K4T51083QC	5	DS	M378T2953CZ3-CE6	•	•	•
256MB	SAMSUNG	K4T51163QE-ZCE6	5	SS	M378T3354EZ3-CE6	•	•	•
512MB	SAMSUNG	K4T51083QE	5	DS	M378T6553EZ3-CE6	•	•	•
1024MB	SAMSUNG	K4T51083QE	5	DS	M378T2953EZ3-CE6	•	•	•
256MB	Hynix	HY5PS121621CFP-Y5	5	SS	HYMP532U64CP6-Y5	•	•	•
1024MB	Hynix	HY5PS12821CFP-Y5	5	DS	HYMP512U64CP8-Y5	•	•	•
256MB	CORSAIR	MIII00605	N/A	SS	VS256MB667D2		•	•
512MB	CORSAIR	64M8CFEG	N/A	SS	VS512MB667D2	•	•	•
1024MB	CORSAIR	64M8CFEG	N/A	DS	VS1GB667D2	•	•	•
256MB	ELPIDA	E2508AB-6E-E	5	SS	EBE25UC8ABFA-6E-E	•	•	•
512MB	ELPIDA	E5108AE-6E-E	5	SS	EBE51UD8AEFA-6E-E	•	•	•
512MB	A-DATA	AD29608A8A-3EG	5	SS	M20AD5G3H3166H1C52	•	•	•
1024MB	A-DATA	AD29608A8A-3EG	5	DS	M20AD5G3I4176H1C52	•	•	•
2048MB	A-DATA	NT5TU128M8BJ-3C	N/A	DS	M2ONY5H3J4170I1C5Z	•	•	•
512MB	Crucial	Heat-Sink Package	3	SS	BL6464AA663.8FD		•	•
1024MB	Crucial	Heat-Sink Package	3	DS	BL12864AA663.16FD		•	
512MB	Apacer	AM4B5708GQJS7E0628F	5	SS	AU512E667C5KBGC		•	
1024MB	Apacer	AM4B5708GQJS7E	5	DS	AU01GE667C5KBGC		•	
512MB	Transcend	K4T51083QE	N/A	SS	TS64MLQ64V6J	•	•	•
1024MB	Transcend	K4T51083QE	N/A	DS	TS128MLQ64V6J		•	
256MB	Kingmax	N2TU51216AG-3C	5	SS	KLCB68F-36KH5	•	•	•
512MB	Kingmax	KKEA88B4LAUG-29DX	5	SS	KLCC28F-A8KB5		•	
1024MB	Kingmax	KKEA88B4LAUG-29DX	5	DS	KLCD48F-A8KB5	•	•	•
512MB	Super Talent	Heat-Sink Package	5	SS	T6UA512C5		•	
1024MB	Super Talent	Heat-Sink Package	5	DS	T6UB1GC5	•	•	•
512MB	SMART	G64M8XB3ITIX4TUE	5	SS	TB3D2667C58S		•	
1024MB	SMART	G64M8XB3ITIX4TUE	5	DS	TB4D2667C58D		•	
2048MB	NANYA	NT5TU128M8BJ-3C	5	DS	NT2GT64U8HB0JY-3C	•	•	•
512MB	NANYA	NT5TU64M8BE-3C	5	SS	NT512T64U88B0BY-3C	•	•	•
512MB	PSC	A3R12E3GEF637BLC5N	5	SS	AL6E8E63B-6E1K	•	•	•
1024MB	PSC	A3R12E3GEF637BLC5N	5	DS	AL7E8E63B-6E1K	•	•	•

## DDR2 800

サイズ	ベンダー	モード	CL	サイド	コンポーネント	メモリ		
						A*	B*	C*
512MB	KINGSTON	K4T51083QC	5	SS	KVR800D2N5/512	•	•	•
1024MB	KINGSTON	Heat-Sink Package	4-4-4-12	SS	KHX6400D2LLK2/1GN	•	•	•
1024MB	KINGSTON	V59C1512804QBF25	N/A	DS	KVR800D2N5/1G	•	•	•
256MB	Qimonda	HYB18T512160BF-25F	5-5-5	SS	HYS64T32000HU-25F-B	•	•	•
512MB	Qimonda	HYB18T512800BF25F	5-5-5	SS	HYS64T64000HU-25F-B	•	•	•
1024MB	Qimonda	HYB18T512800BF25F	5-5-5	DS	HYS64T128020HU-25F-B	•	•	•
512MB	SAMSUNG	EDD339XX	5-5-5	SS	M378T6553CZ3-CE7	•	•	•
256MB	SAMSUNG	K4T51163QC-ZCE7	5-5-5	SS	M378T3354CZ3-CE7	•	•	•
512MB	SAMSUNG	ZCE7K4T51083QC	5-5-5	SS	M378T6553CZ3-CE7	•	•	•
512MB	Hynix	HY5PS12821CFP-S5	5-5-5	SS	HYMP564U64CP8-S5	•	•	•
1024MB	Hynix	HY5PS12821CFP-S5	5-5-5	DS	HYMP512U64CP8-S5	•	•	•
512MB	MICRON	D9GKX	N/A	SS	MT8HTF6464AY-80ED4	•	•	•
1024MB	MICRON	D9GKX	N/A	DS	MT16HTF12864AY-80ED4	•	•	•
1024MB	CORSAIR	Heat-Sink Package	4	DS	CM2X1024-6400C4	•	•	•
512MB	Crucial	Heat-Sink Package	4	SS	BL6464AA804.8FD	•	•	•
1024MB	Crucial	Heat-Sink Package	4	DS	BL12864AA804.16FD	•	•	•
1024MB	Crucial	Heat-Sink Package	4	DS	BL12864AL804.16FD3	•	•	•
1024MB	Crucial	Heat-Sink Package	4	DS	BL12864AA804.16FD3	•	•	•
512MB	Apacer	Heat-Sink Package	5	DS	AHU512E800C5K1C	•	•	•
1024MB	Apacer	Heat-Sink Package	5	DS	AHU01GE800C5K1C	•	•	•
512MB	A-DATA	AD29608A8A-25EG	N/A	SS	M20AD6G3H3160G1E53	•	•	•
1024MB	A-DATA	AD26908A8A-25EG	N/A	DS	M20AD6G3I4170I1E58	•	•	•
512MB	KINGMAX	KKA8FEIBF-HJK-25A	N/A	SS	KLDC28F-A8K15	•	•	•
1024MB	KINGMAX	KKA8FEIBF-HJK-25A	N/A	DS	KLDD48F-ABK15	•	•	•
512MB	Transcend	HY5PS12821CFP-S5	N/A	SS	TS64MLQ64V8J	•	•	•
1024MB	Transcend	HY5PS12821CFP-S5	N/A	DS	TS128MLQ64V8J	•	•	•
512MB	Super Talent	Heat-Sink Package	N/A	SS	T800UA12C4	•	•	•
1024MB	Super Talent	Heat-Sink Package	N/A	DS	T800UB1GC4	•	•	•
1024MB	NANYA	NT5TU64M8BE-25C	5	DS	NT1GT64U8HB00BY-25C	•	•	•
512MB	PSC	A3R12E3HEF641B9A05	5	SS	AL6E8E63B8E1K	•	•	•
1024MB	PSC	A3R12E3HEF641B9A05	5	DS	AL7E8E63B-8E1K	•	•	•

サイド:SS-シングルサイド

DS-ダブルサイド

### メモリサポート

- A - シングルチャンネルメモリ構成として、1枚のモジュールをイエローのスロットまたはブラックのスロットのどちらか一方に取り付けることが可能。
- B - 1組のデュアルチャンネルメモリ構成として、2枚1組のメモリをイエローのスロットまたはブラックのスロットのどちらか一方に取り付けることが可能。
- C - 2組のデュアルチャンネルメモリ構成として、4枚のメモリをイエローのスロットとブラックのスロットに取り付けることが可能。

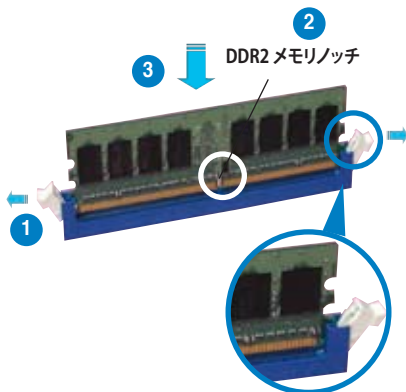
## 2.5.2 メモリを取り付ける



メモリや、その他のシステムコンポーネントを追加、または取り外す前に、コンピュータの電源プラグを抜いてください。プラグを差し込んだまま作業すると、マザーボードとコンポーネントが破損する原因となります。

### 手順

1. クリップを外側に押して、メモリスロットのロックを解除します。
2. メモリのノッチがスロットの切れ目に一致するように、メモリをスロットに合わせます。
3. クリップが所定の場所に戻りメモリが正しく取り付けられるまで、メモリをスロットにしっかり押し込みます。



ロック解除されたクリップ



- DDR2 メモリは取り付けの向きがあります。間違った向きでメモリを無理にスロットに差し込むと、メモリが損傷する原因となります。
- DDR2 メモリのスロットは DDR メモリをサポートしていません。DDR2 メモリのスロットに、DDR メモリを取り付けないでください。

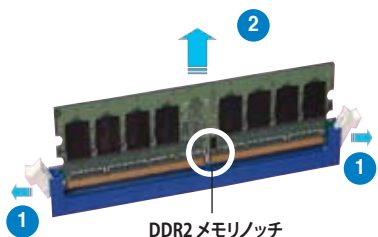
## 2.5.3 メモリを取り外す

### 手順

1. クリップを外側に同時に押してメモリのロックを解除します。



クリップを押しているとき、指でメモリを軽く引っぱります。無理な力をかけてメモリを取り外すとメモリが破損する恐れがあります。



2. スロットからメモリを取り外します。

## 2.6 拡張カードを取り付ける

拡張カードを取り付ける場合は、このセクションに書かれている 拡張スロットに関する説明をお読みください。本マザーボードは PCI スロット 2 基、PCI Express™ x4 スロット 1 基、PCI Express™ x16 スロット 1 基を搭載しています。以下は各スロットとサポートする拡張カードの説明です。



本システムはロープロファイル PCI、PCI Express x16、PCI Express x4 カードをサポートしており、ロープロファイル拡張カードのみを取り付けることができます。詳細は販売店様にお問い合わせください。

### 2.6.1 拡張スロット

#### PCI スロット

LAN カード、SCSI カード、USB カード等の PCI 規格準拠のカードをサポートしています。

#### PCI Express x16 スロット

本マザーボードは PCI Express 規格準拠の PCI Express x16 ビデオカードをサポートしています。

#### PCI Express x4 スロット

本マザーボードは PCI Express x4 ネットワークカード、SCSI カード等の PCI Express 規格準拠のカードをサポートしています。



拡張カードを取り付ける前に、拡張カードに付属するマニュアルをご覧になり、カードに必要なハードウェアの設定を行ってください。

### 2.6.2 拡張カードの取り付け



拡張カードの追加や取り外しを行う前は、電源コードを抜いてください。電源コードを接続したまま作業をすると、負傷や、マザーボードコンポーネントの損傷の原因となります。

#### 手順

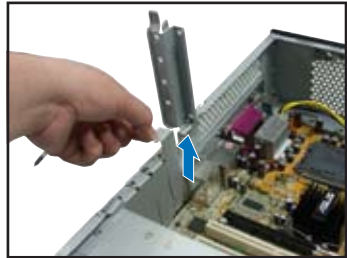
1. システムを横にして、安定した平らな台の上に置きます。
2. 拡張カードロックを90°~100°ほど持ち上げます。



2. ケースサポートブラケットを取り外します。



3. 使用するスロットの金属カバーを取り外します。



4. カードコネクタとスロットの位置を合わせ、しっかり押し込みます。



5. ハードディスクドライブを取り付けている場合、ケースサポートブラケットを再び取り付けます。取り付けしていない場合、その他のコンポーネントを取り付けてからケースサポートブラケットを取り付けます。



6. 拡張カードロックを元に戻し、カードをケースに固定します。



## 標準の割り込み割り当て

IRQ	優先順位	標準機能
0	1	システムタイマー
1	2	キーボードコントローラ
2	–	IRQ#9 にリダイレクト
3	11	PCI ステアリング用 IRQ ホルダ*
4	12	通信ポート (COM1)*
5	13	PCI ステアリング用 IRQ ホルダ*
6	14	フロッピーディスクコントローラ
7	15	プリンタポート (LPT1)*
8	3	システム CMOS/リアルタイムクロック
9	4	PCI ステアリング用 IRQ ホルダ*
10	5	PCI ステアリング用 IRQ ホルダ*
11	6	PCI ステアリング用 IRQ ホルダ*
12	7	PCI ステアリング用 IRQ ホルダ*
13	8	数値データプロセッサ
14	9	プライマリ IDE チャンネル
15	10	セカンダリ IDE チャンネル

\* 上記のIRQはPCIデバイスで使用されています。

## 本マザーボード用のIRQ割り当て

	A	B	C	D	E	F	G	H
PCI スロット 1	共有	–	–	–	–	–	–	–
PCI スロット 2	–	共有	–	–	–	–	–	–
LAN (Marvell8056)	–	共有	–	–	–	–	–	–
PATA (368)	共有	–	–	–	–	–	–	–
PCIE x16_1	共有	–	–	–	–	–	–	–
PCIE x4	共有	–	–	–	–	–	–	–
USB コントローラ 0	–	–	–	–	–	–	–	共有
USB コントローラ 1	–	–	–	共有	–	–	–	–
USB コントローラ 2	–	–	共有	–	–	–	–	–
USB コントローラ 3	共有	–	–	–	–	–	–	–
USB コントローラ 4	共有	–	–	–	–	–	–	–
USB コントローラ 5	–	–	–	–	–	共有	–	–
USB 2.0 コントローラ 1	–	–	–	–	–	–	–	共有
USB 2.0 コントローラ 2	–	–	共有	–	–	–	–	–
SATA コントローラ 1	–	–	共有	–	–	–	–	–
SATA コントローラ 2	–	–	–	–	–	–	共有	–
VIA 1394	–	–	–	–	共有	–	–	–
Azalia	–	–	–	–	–	–	共有	–



PCI カードを共有スロットに挿入する際は、ドライバがIRQの共有をサポートすること、または、カードが IRQ 割り当てを必要としないことを確認してください。IRQ を要求する 2 つの PCI グループが対立し、システムが不安定になりカードが動作しなくなる場合があります。



## 2.7 光学ドライブを取り付ける

システムには光学ドライブ用に 5.25 インチドライブベイが搭載されています。

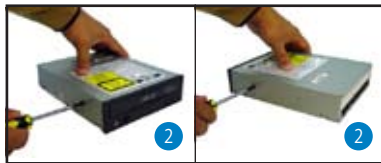


IDE ハードディスクドライブを取り付ける際は、光学ドライブをスレーブデバイスとして設定してください。設定方法の詳細については光学ドライブのマニュアルをご参照ください。

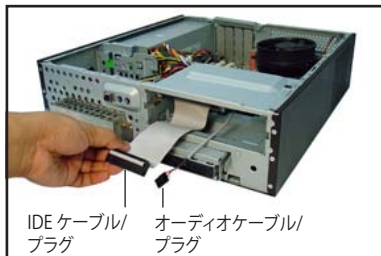
### 手順

1. 「2.3.2 フロントパネルアッセンブリを取り外す」の指示に従い、フロントパネルアッセンブリを取り外してください。

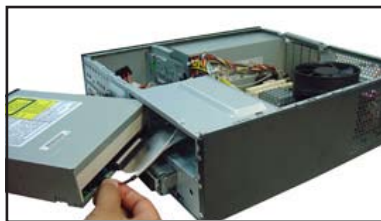
2. ドライブ両側にあるネジ穴の、フロントパネルに近い上の方のネジを締めます。ネジ穴は、ドライブのフロントパネルから約 5 cm、ドライブベースから約 2 cm の所にあります。



3. システムを、安定した平らな台の上に、横に置きます。
4. IDE ケーブル/プラグとオーディオケーブル/プラグを、ドライブに接続できる長さまで、ベイから慎重に引き出します。

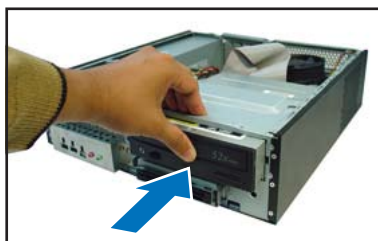


5. IDE ケーブルを、ドライブ後部にある IDE インターフェイスに接続してください。ケーブルの赤く色付けされたサイドが、IDE インターフェイスの Pin 1 と一致するようにしてください。
6. 光学ドライブオーディオケーブルを、光学ドライブ後部にある 4 ピンコネクタに接続してください。



IDE プラグとオーディオプラグは、マザーボードのプライマリ IDE コネクタと内部オーディオコネクタに予め接続されています。これらのプラグを取り外す場合は、ページ 4-6、4-8 を参照し、それぞれの位置をご確認ください。

7. 光学ドライブを、ロックがカチッと締まるまで、ベイに慎重に挿入します。
8. 電源装置の4ピン電源プラグを、ドライブ後部にある電源コネクタに接続します。



## 光学ドライブを取り外す

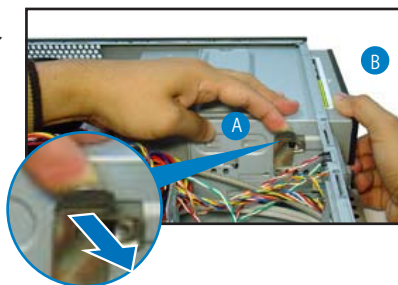
光学ドライブを交換する場合は以下の手順をご参照ください。

### 手順

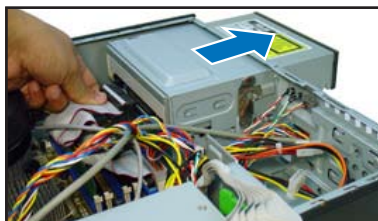
1. セクション「2.3.2 フロントパネルアッセンブリを取り外す」の指示に従い、フロントパネルアッセンブリを取り外します。
2. 光学ドライブネジロックの位置を確認します。



3. 図のようにロックを手前に押して光学ドライブネジを外します(A)。ドライブをベイから少し引き出します(B)。



4. ドライブ後部から、IDE電源ケーブル/プラグ、オーディオケーブル/プラグ、電源ケーブル/プラグを取り外します。
5. ドライブをベイから完全に引き出します。次に、前セクションの指示に従い、取り替えます。

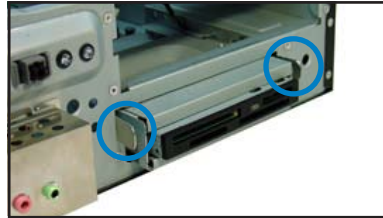


## 2.8 カードリーダーを取り外す

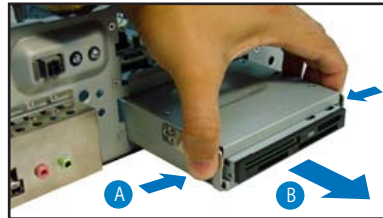
6-in-1 カードリーダーを交換する場合は以下の手順に従ってください。

手順

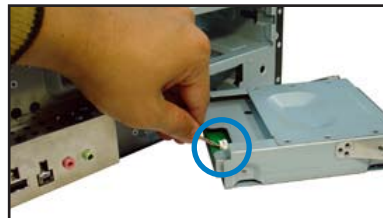
1. 「2.3.2 フロントパネルアッセンブリーを取り外す」の指示に従い、フロントパネルアッセンブリーを取り外します。
2. カードリーダーアッセンブリーの両側にあるロックの位置を確認します。



3. カードリーダーロックを内側に押し (A)、カードリーダーアッセンブリーを外側に引き出し (B)、USB ケーブル/プラグを外に出します。



4. カードリーダーアッセンブリーから USB ケーブル / プラグを取り外し、カードリーダーアッセンブリーを脇に置きます。

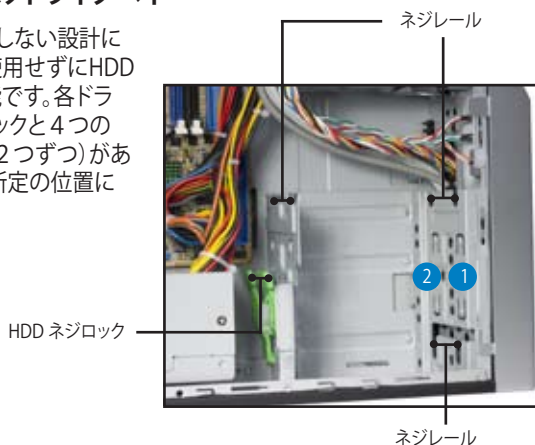


## 2.9 ハードディスクドライブ (HDD)を取り付ける

システムは 3.5 インチドライブベイ 2 基 (1、2と表示) を搭載しており、Serial ATA HDD 2 台、または IDE HDD 1 台 (光学ドライブ 1 台を取り付けた場合) を取り付けることができます。

### 2.9.1 ハードディスクドライブベイ

ドライブベイはネジを使用しない設計になっており、ケースネジを使用せずにHDDの取り付け/取り外しが可能です。各ドライブベイには HDD ネジロックと4つのネジレール (ベイの両側に2つずつ) があり、HDD ネジとドライブを所定の位置に固定します。

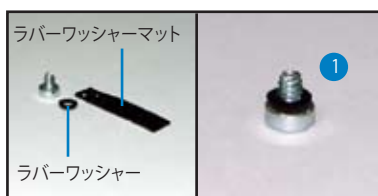


ハードディスクドライブを取り付ける際は、上の HDD ベイに取り付けてください。

### 2.9.2 SATA ハードディスクドライブを取り付ける

手順

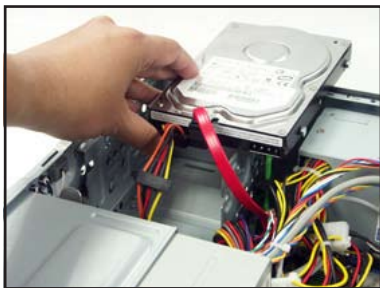
1. ラバーワッシャーをHDD ネジに取り付けます。右の図をご参照ください。
2. ドライブのネジ穴に4本のネジ (ドライブの両側に2本ずつ) を取り付けます。



3. 付属の7ピン SATA ケーブルの一方を、ドライブ後部にある SATA コネクタに接続します。次にもう片方のエンドを、マザーボードの SATA コネクタに接続します。SATA コネクタの位置についてはページ 4-7 をご覧ください。



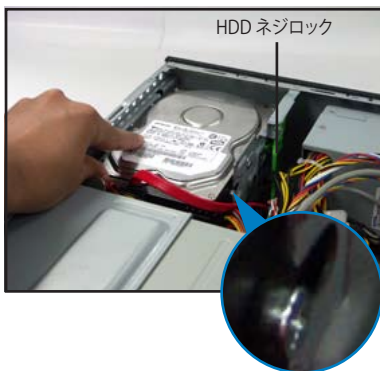
4. 電源装置の15ピン SATA 電源プラグを、ドライブ後部の電源コネクタに接続します。



5. HDD をトレイに取り付けます。HDD ネジが、ネジ穴とレールの位置に一致することをご確認ください。



6. HDD ネジがネジレールの位置に合っていることを確認したら、ドライブを、完全にベイに収まるまで慎重に押します。  
ドライブが正しく取り付けられると、HDD ネジロックがカチッと締まります。



## 2.9.3 IDE ハードディスクドライブを取り付ける



IDE ケーブル/電源プラグを接続する前に、IDE HDD をマスターデバイスとして設定してください。詳細は HDD マニュアルをご参照ください。

### 手順

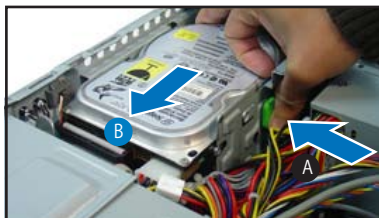
1. セクション2.9.2 の手順 1、2 に従います。
2. IDE ケーブル(グレイのコネクタ)を、ドライブ後部の IDE インターフェースに接続します。ケーブルの赤く色付けされたサイドが、IDE インターフェースの Pin 1 と一致するようにしてください。
3. 電源装置の電源ケーブルを、ドライブ後部にある電源コネクタ接続します。
4. セクション 2.9.2 の手順 5、6 に従い、完全に取り付けます。

## 2.9.4 ハードディスクドライブを取り外す

ハードディスクドライブを交換する場合は、以下の手順に従ってください。

### 手順

1. HDD ネジロックを押し (A)、ドライブをベイから押し (B)、ドライブネジをネジレールから外します。
2. HDD を少し持ち上げ、ドライブ後部にある全てのプラグを取り外します。
3. 前セクションの指示に従い、新しい HDD を取り付けます。



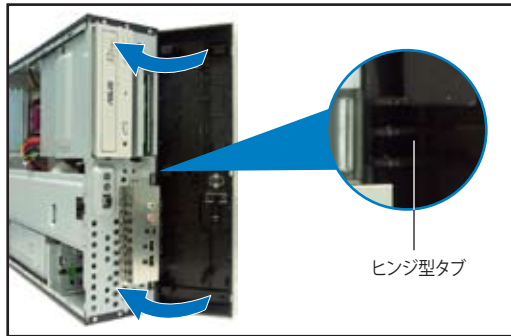
## 2.10 カバーを再び取り付ける

必要なコンポーネントをシステムに全て取り付けたら、本セクションの指示に従い、カバーを再び取り付けてください。

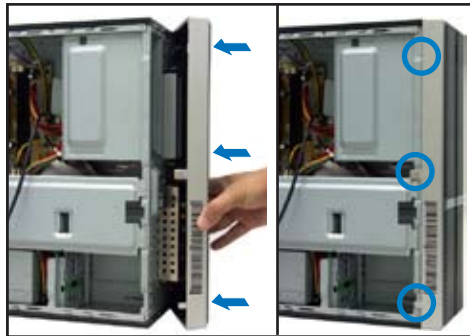
### 2.10.1 フロントパネルアッセンブリーを再び取り付ける

手順

1. ヒンジ型タブを、ケース右側にある穴にはめ込みます。



2. フロントパネルの左のエッジを内側に閉じます。次に、フロントパネルアッセンブリフックが所定の位置に締まるよう、ケースに取り付けます。



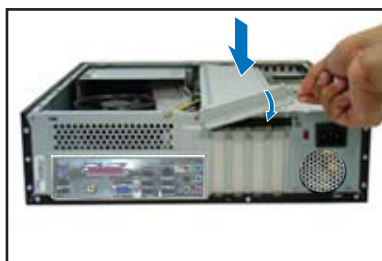
フロントパネルアッセンブリーを再び取り付ける際は、無理な力をかけないようにしてください。



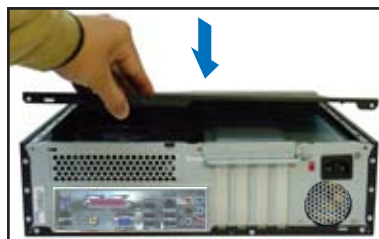
## 2.10.2 システムカバーを再び取り付ける

メタルケースサポートを再び取り付ける

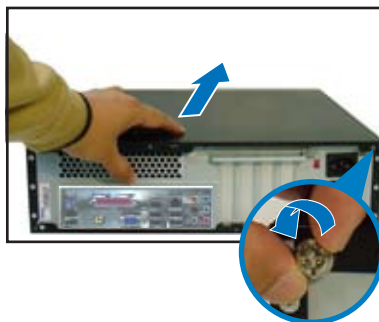
1. ケースサポートブラケットと拡張カードロックを、元の場所に戻します。



2. カバーのフックを、ケース両側にある穴に合わせ、はめ込みます。カバーの8つのフック（両側に4つずつ）が、所定の穴に正しくはめ込まれる必要があります。



3. カバーをスライドさせ、フロントパネルに正しく固定します。
4. カバーのネジを再び取り付けます。





## 2.11 フットスタンドを取り付ける

システムを垂直に設置する場合はフットスタンドを取り付ける必要があります。

### 手順

1. システムを横向きにして、平らで安定した台の上に置きます。台は、フットスタンドを取り付けられるように、その下の台より一段高くなっている必要があります。システムの左側にある2つのネジ穴の位置を確認します。
2. フットスタンドを取り付けやすいように、システムの左側部分を、下の台の端から3 cm ほど外に出します。
3. フットスタンドとケースのネジ穴の位置を合わせます。
4. ネジを締め、フットスタンドをケースに固定します。
5. 2つ目のフットスタンドも同じ手順で取り付けます。



右は、システムを垂直に設置した場合の写真です。



## 2.12 電圧を選択する

システムの電源装置には、115 V/230 V 電圧セレクタースイッチが付いています（電源コネクタの隣）。お使いのエリアの電圧に応じ、システム入力電圧を選択してください。

お使いのエリアの電圧が 100-127 V の場合は、115 V を選択します。200-240 V の場合は、230 V を選択します。日本の電源電圧は 100 V です。115 V を選択してください。



---

230 V のエリアで 115 V を選択すると、システムの故障の原因となります！

---

# Chapter 3

システムの電源をオンにする方法、  
サポートCDからドライバやユーティリティをインストールする方法について



ASUS P3-P5G33

起動

## 3.1 OSをインストールする

本マザーボードは、Windows® XP/XP 64 bit /Vista /Vista 64bit OSをサポートしています。ハードウェアの機能を最大限活用するために、OSを定期的にアップデートしてください。



- マザーボードの設定とハードウェアのオプションは異なる場合があります。ここで説明するセットアップ手順は一例です。詳細については、OSのマニュアルをご参照ください。
- 互換性とシステムの安定性のために、ドライバをインストールする前に、Windows® 2000 は Service Pack 4 以降のサービスパック適用済みのOS であること、Windows® XP は Service Pack 2 以降のサービスパック適用済みのOS であることをご確認ください。

## 3.2 サポート CD 情報

マザーボードに付属のサポート CD には、マザーボードを利用するために必要なドライバ、アプリケーション、ユーティリティが収録されています。



サポート CD の内容は、予告なしに変更する場合があります。最新のものは、ASUS Webサイト ([www.asus.co.jp](http://www.asus.co.jp)) でご確認ください。

### 3.2.1 サポート CD を実行する

サポート CD を光学ドライブに入れます。OS の Autorun 機能が有効になっていれば、ドライバメニューが自動的に表示されます。



サポートCDとマザーボードの情報を表示できます。

インストールする項目を選択



Autorun が有効になっていない場合は、サポート CD の BIN フォルダから ASSETUP.EXE を探してください。ASSETUP.EXE をダブルクリックすれば、ドライバメニューが表示されます。

### 3.2.2 ドライバメニュー

ドライバメニューには、インストールが可能なドライバが表示されます。必要なドライバを上から順番にインストールしてご利用ください。



#### **ASUS InstAll-Drivers Installation Wizard**

ASUS InstAll でドライバをインストールします。

#### **Intel Chipset Inf Update Program**

Intel® Chipset Inf Update Program をインストールします。

#### **Intel Graphics Accelerator Driver**

Intel® グラフィックスアクセラレータードライバをインストールします。

#### **Realtek Audio Driver**

Realtek® ALC883 オーディオドライバ・アプリケーションをインストールします。

#### **Marvell Yukon Gigabit Ethernet Driver**

Marvell Yukon Gigabit Ethernet LAN ドライバをインストールします。

#### **USB 2.0 Driver**

Universal Serial Bus 2.0 (USB 2.0) ドライバをインストールします。

### 3.2.3 ユーティリティメニュー

マザーボードで使えるアプリケーションやユーティリティをインストールします。



#### ASUS InstAll-Installation Wizard for Utilities

ASUS InstAll でユーティリティをインストールします。

#### ASUS Update

ASUS Web サイトから最新バージョンの BIOS をダウンロードするツールです。



---

このユーティリティを使用するにはインターネット接続が必要です。

---

#### ASUS AI Gear2

ASUS AI Gear2 をインストールします。

#### ASUS AI Nap

ASUS AI Nap をインストールします。

#### ASUS PC Probe II

ファンスピードとCPU 温度、システム電圧を監視し、問題がある場合に警告します。このユーティリティを使えばコンピュータを常に正常な状態に維持することができます。



以下のユーティリティは ASUS Superb Software Library CD からインストールすることができます。



### **ADOBE Acrobat Reader V7.0**

PDF (Portable Document Format) ファイルの閲覧、プリントができるAdobe® Acrobat® Reader V7.0 をインストールします。

### **Microsoft DirectX 9.0c**

Microsoft® DirectX 9.0c ドライバをインストールします。Microsoft DirectX® 9.0c は、コンピュータのグラフィックスとサウンドを拡張するマルチメディアテクノロジーです。DirectX®はコンピュータのマルチメディア機能を向上させるので、TVや映画、ビデオキャプチャ、ゲームをよりお楽しみいただけます。アップデートはMicrosoft Webサイト ([www.microsoft.co.jp](http://www.microsoft.co.jp))で。

### **Symantec Norton Internet Security**

コンピュータウイルスからパソコンを守ります。

### **WinDVD Copy5 Trial**

WinDVD Copy5 Trial ユーティリティをインストールします。

### **Corel Snapfire Plus SE**

Corel Snapfire Plus SE ユーティリティをインストールします。

## 3.2.4 マニュアルメニュー

補足のユーザーマニュアルを見ることができます。

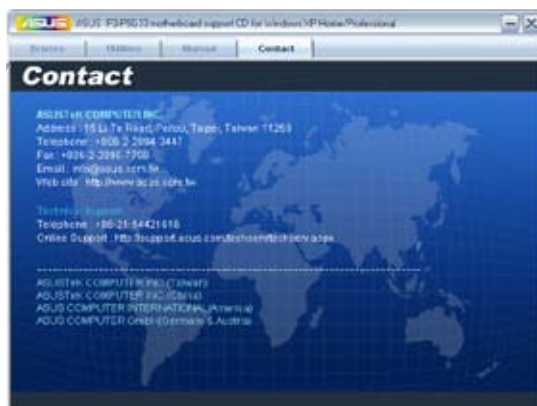


ほとんどのマニュアルファイルは PDF になっています。PDF ファイルを見るには、ASUS Superb Software Library CD から Adobe® Acrobat® Reader V7.0 をインストールしてください。



## 3.2.5 コンタクトインフォメーション

ASUS コンタクトインフォメーションです。



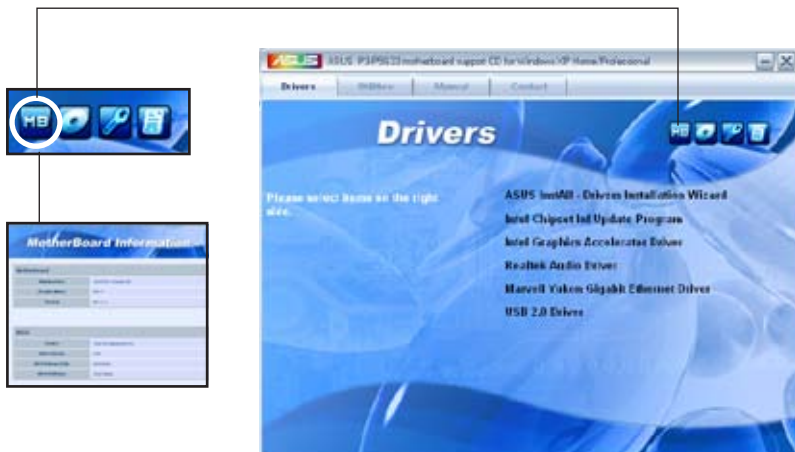


### 3.2.6 その他の情報

画面右上のアイコンです。マザーボード、サポート CD の内容に関する追加情報です。

#### マザーボード情報

マザーボードの全般仕様を表示します。



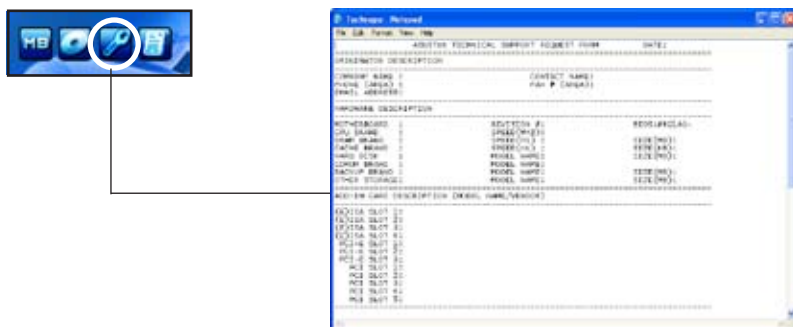
#### CD をブラウズする

サポート CD のコンテンツを表示します。(グラフィカル形式)



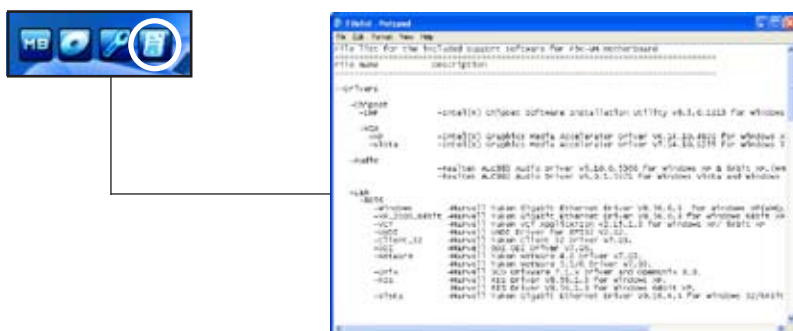
## テクニカルサポートフォーム

Technical Support Request Form を表示。テクニカルサポートをご依頼の際に記入してください。



## ファイルリスト

サポート CD のコンテンツを表示します。(テキスト形式)



# Chapter 4

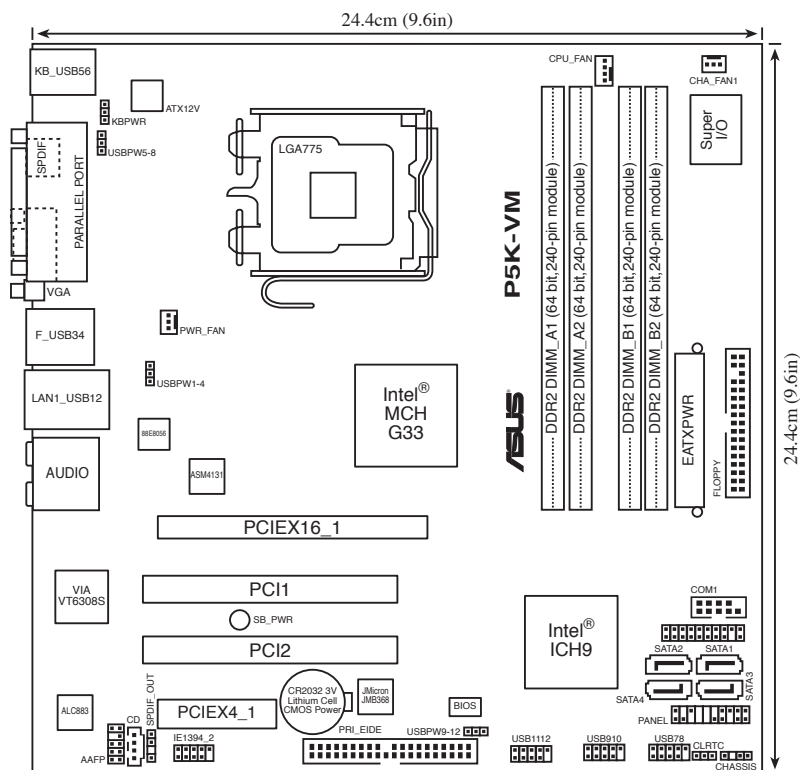
付属のマザーボードについての情報と、マザーボードのレイアウト、ジャンパ設定、コネクタの位置などの説明



ASUS P3-P5G33

## 4.1 マザーボードの概要

### マザーボードのレイアウト



リアパネルコネクタと内部コネクタの詳細については「1.3 リアパネル」をご参照ください。

## 4.2 ジャンパ

### 1. RTC RAMのクリア (3 ピンCLRRTC)

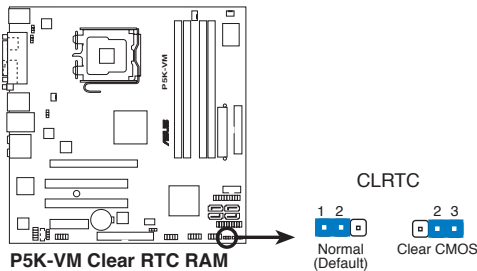
このジャンパは、CMOSのリアルタイムクロック (RTC) RAMをクリアするものです。CMOS RTC RAMのデータを消去することにより、日、時、およびシステム設定パラメータをクリアできます。システムパスワードなどのシステム情報を含むCMOS RAMデータの維持は、マザーボード上のボタン電池により行われています。

RTC RAMをクリアする手順

1. コンピュータの電源をオフにし電源コードをコンセントから抜きます。
2. マザーボード上のボタン電池を取り外します。
3. ジャンパキャップをピン 1-2 (初期設定) からピン 2-3 に移動させます。5〜10秒間のままにして、再びピン1-2にキャップを戻します。
4. 電池を取り付けます。
5. 電源コードを差し込み、コンピュータの電源をオンにします。
6. 起動プロセスの間<Del>キーを押し、BIOS設定に入ったらデータを再入力します。



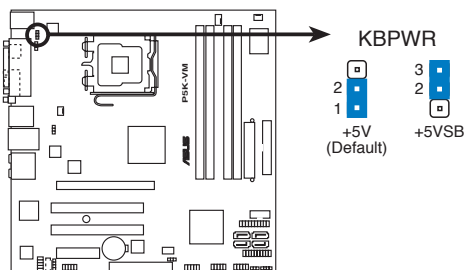
RTC RAM をクリアしている場合を除き、CLRRTCジャンパのキャップは取り外さないでください。システムの起動エラーの原因となります。



オーバークロックによりシステムがハングアップした場合は、C.P.R. (CPU Parameter Recall) 機能をご利用いただけます。システムを停止して再起動すると、BIOS は自動的にパラメータ設定を初期設定値にリセットします。

## 2. キーボード電源(3ピン KBPWR)

このジャンパはキーボードウェイクアップ機能の切り替え用のジャンパです。キーボードのキーを押してコンピュータをウェイクアップさせる場合は(初期設定はスペースバー)、このジャンパをピン 2-3 (+5VSB) にします。この機能には +5VSB リード線に最低 1A 供給可能な ATX 電源と BIOS 設定が必要です。

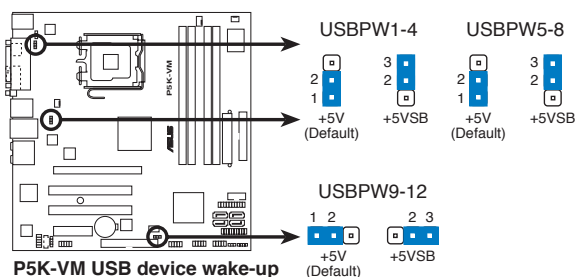


P5K-VM Keyboard power setting

## 3. USB デバイスウェイクアップ (3 ピン USBPW1-4、USBPW5-8、USBPW9-12)

USB デバイスを利用して、S1 スリープモード (CPU 停止、DRAM リフレッシュ、低電力モードでのシステム稼働) からウェイクアップするには、+5V に設定します。S3 と S4 スリープモードからウェイクアップするには、+5VSB に設定します。

USBPW1-4 ジャンパは後部 USB ポート用です。USBPW5-8 ジャンパと USBPW9-12 ジャンパは内部 USB コネクタ用で、追加の USB ポートに接続することができます。



P5K-VM USB device wake-up



- USB デバイスウェイクアップ機能には、各 USB ポート用の +5VSB リード線に 500mA の電流供給ができる電源装置が必要です。それ以外ではシステムはウェイクアップしません。
- 総消費電流は、通常の条件でもスリープモードでも、電源装置の能力 (+5VSB) を超過してはいけません。

## 4.3 コネクタ

### 4.3.1 リアパネルコネクタ

リアパネル I/O ポートの記載については、セクション「1.3 リアパネル」をご参照ください。

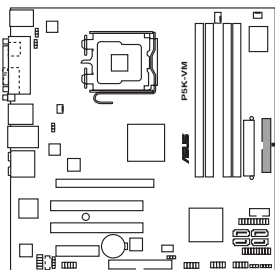
### 4.3.2 内部コネクタ

#### 1. フロッピーディスクドライブコネクタ (34-1 ピンFLOPPY)

フロッピーディスクドライブ (FDD) ケーブル用コネクタです。ケーブルの一方をこのコネクタに挿入し、もう一方をフロッピーディスクドライブの背面に接続します。



誤ってケーブルを接続しないように、コネクタのピン5は取り外されています。



PIN 1 FLOPPY

注意: フロッピーケーブルの赤いラインと PIN1 の向きを合わせてください。

**P5K-VM Floppy disk drive connector**

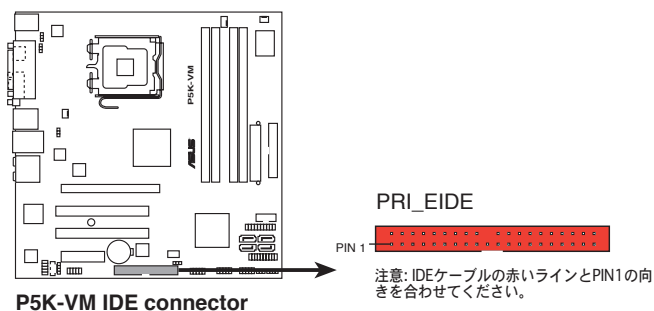
## 2. IDE コネクタ (40-1 ピン PRI\_EIDE)

Ultra DMA133/100/66 ケーブル用です。各 Ultra DMA 133/100/66 ケーブルにはブルー、ブラック、グレーの3つのコネクタがあります。マザーボードのIDEコネクタにはブルーを接続し、下からいずれかのモードを選択してください。

	ドライブジャンパ設定	デバイスのモード	ケーブルコネクタ
デバイス 1 台	Cable-Select/ マスター	-	ブラック
デバイス 2 台	Cable-Select	マスター	ブラック
		スレーブ	グレー
	マスター	マスター	ブラック/ グレー
	スレーブ	スレーブ	ブラック/ グレー

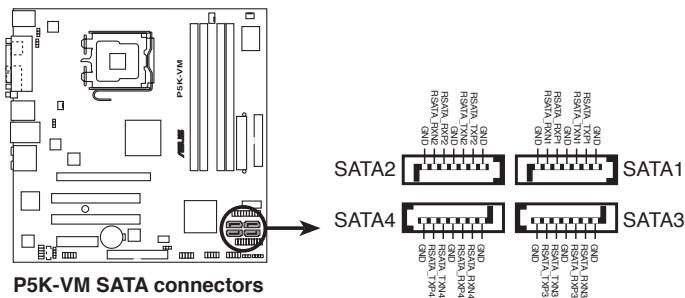
- 誤ってケーブルを接続しないようにコネクタのピン20は取り外されています。
- Ultra DMA 133/100/66 IDE デバイスの場合は、80ピンタイプのIDEケーブルを使用します。

あるデバイスジャンパを「Cable-Select」に設定した場合は、他のデバイスジャンパも全て同じ設定にしてください。



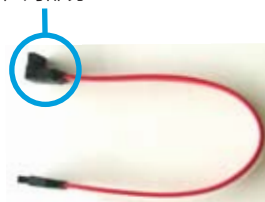


これらコネクタは Serial ATA ケーブル用で、Serial ATA ハードディスクドライブに使用します。



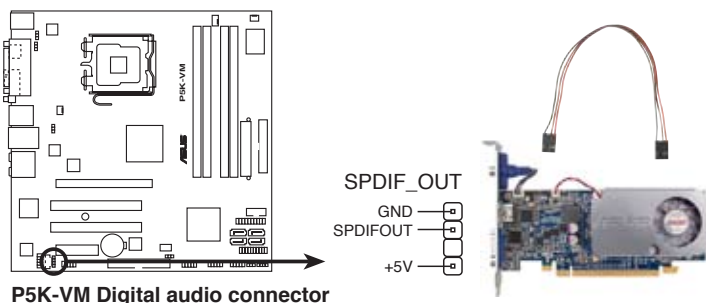
SATAケーブルの直角部分を  
SATA デバイスに接続します。  
あるいは、オンボード SATA ポー  
トに接続してビデオカードとの  
衝突を避けることもできます。

直角部分



#### 4. デジタルオーディオコネクタ (4-1 ピン SPDIF\_OUT :ASUS HDMI ビデオカード用)

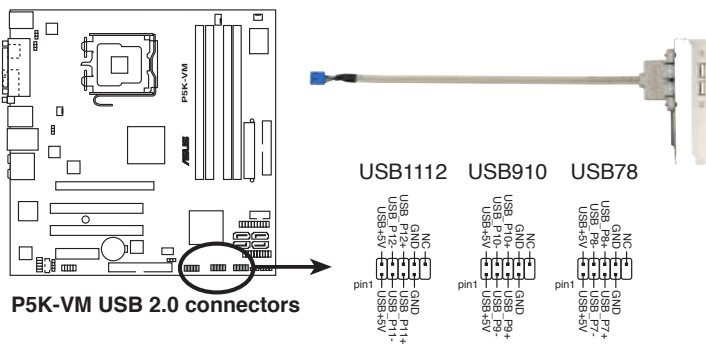
このコネクタは追加のS/PDIFポート用です。ASUS のHDMI 規格のビデオカードを使用する場合、S/PDIF 出力ケーブルを使用して HDMI カードをこのコネクタに接続します。



ASUS のHDMI 規格のビデオカードと S/PDIF 出力ケーブルは別売りとなっております。

#### 5. USB コネクタ (10-1 ピン USB78、USB 910、USB1112)

USB 2.0 ポート用のコネクタです。USBケーブルをこれらのコネクタに接続します。このコネクタは最大 480 Mbps の接続速度を持つ USB 2.0 規格に準拠しています。



1394 ケーブルを USB コネクタに接続しないでください。マザーボードが破損する原因となります。



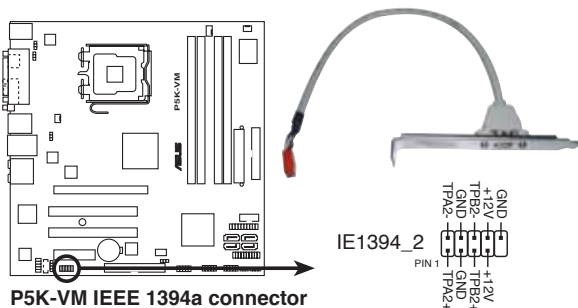
お使いのケースがフロントパネル USB ポートをサポートしている場合は、フロントパネル USB ケーブルをこれらコネクタに接続することができます。まずフロントパネル USB ケーブルを ASUS Q-Connector (USB、ブルー) に接続し、Q-Connector (USB) をオンボード USB コネクタに取り付けると接続が短時間で行えます。



USB ケーブルは別売りとなっております。

## 6. IEEE 1394a ポートコネクタ (10-1 ピン IE1394\_2)

IEEE 1394a ポート用です。IEEE 1394a ケーブルをこのコネクタに接続します。



USBケーブルを IEEE 1394a コネクタに接続しないでください。マザーボードが破損する原因となります。



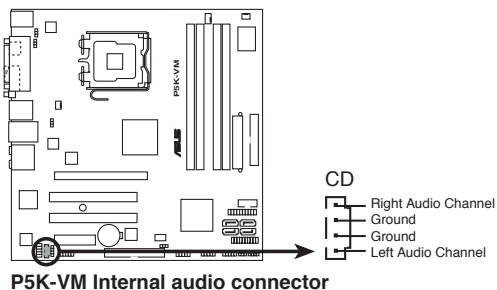
お使いのケースがフロントパネル IEEE1394 ポートをサポートしている場合、フロントパネル1394ケーブルをこのコネクタに接続することができます。まず、1394 ケーブルをASUS Q-Connector (1394、レッド)に接続し、Q-Connector (1394) をオンボード1394 コネクタに取り付けると接続が短時間でできます。



IEEE 1394a ケーブルは別売りとなっております。

## 7. 光学ドライブオーディオコネクタ (4 ピン CD)

CD-ROM、TV チューナー、MPEG カード等のサウンドソースからステレオオーディオ入力を受信します。

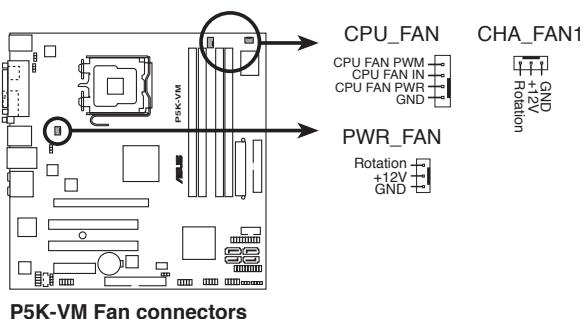


## 8. CPU ファンコネクタ、ケースファンコネクタ、電源ファンコネクタ (4 ピン CPU\_FAN、3 ピン CHA\_FAN1、3 ピン PWR\_FAN)

各ファンコネクタは+12Vで、350 mA ~ 2000 mA (最大24 W) またはトータルで 1 A ~ 7 A (最大84 W) の冷却ファンをサポートします。ファンケーブルをマザーボードのファンコネクタに接続し、各ケーブルの黒いワイヤがコネクタのアースピンに接続されていることを確認します。



ケース内に十分な空気の流れがないと、マザーボードコンポーネントが破損する恐れがあります。組み立ての際にはシステムの冷却ファン(吸/排気ファン)を必ず搭載してください。また、吸/排気ファンの電源をマザーボードから取得することで、エアフローをマザーボード側で効果的にコントロールすることができます。また、これはジャンパピンではありません。ファンコネクタにジャンパキャップを取り付けないでください。



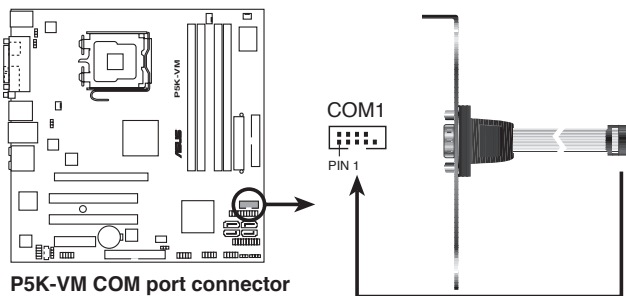
P5K-VM Fan connectors



CPU-FAN コネクタのみが ASUS Q-FAN 機能に対応しています。

## 9. Serial ポートコネクタ (10-1 ピン COM1)

シリアル (COM)ポート用です。シリアルポートケーブルをこのコネクタに接続します。



P5K-VM COM port connector

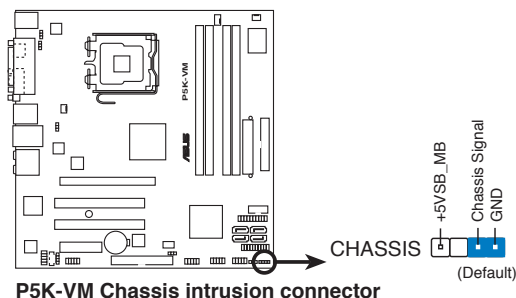


Serial (COM) ポートモジュールは別売りとなっております。

## 10. ケース開閉検出コネクタ (4-1 ピン CHASSIS)

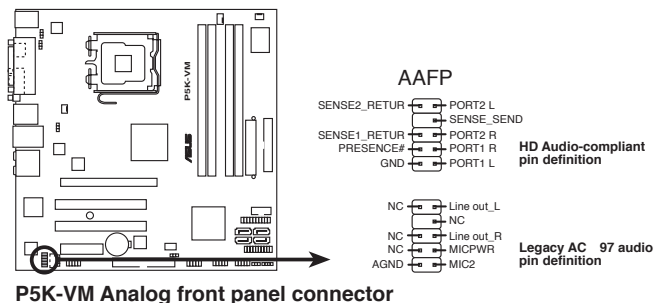
ケース開閉検出センサーまたはスイッチ用コネクタです。センサーまたはスイッチを接続してください。システムコンポーネントを取り外したり交換するときにケースを開けると、ケース開閉検出センサーまたはスイッチはこのコネクタに信号を送信します。信号はその後、ケース開閉検出イベントを発行します。

初期設定値では、「Chassis Signal」と「Ground」のピンの間にはジャンパキャップにより、ショートされています。ケース開閉検出機能を使用する場合にのみ、ジャンパを取り外してケース開閉検出センサーを接続してください。



## 11. フロントパネルオーディオコネクタ (10-1 ピン AAFP)

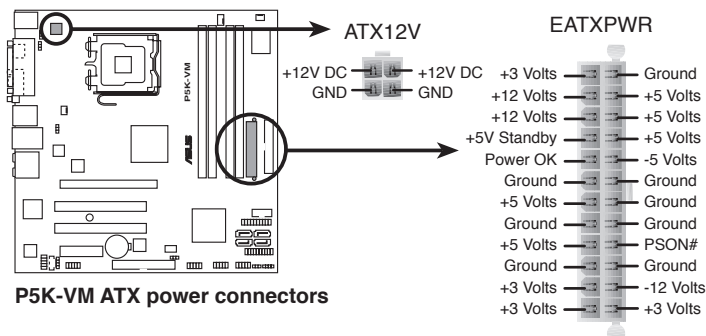
ケースのフロントパネルオーディオI/Oモジュール用コネクタで、HDオーディオ及びAC'97オーディオをサポートしています。オーディオI/Oモジュールケーブルの一方をこのコネクタに接続します。



- HDオーディオ機能を最大限に活用するため、HDフロントパネルオーディオモジュールを接続することをお勧めします。
- HD オーディオを使用するには BIOS で「Front Panel Type」の項目を [HD Audio] に設定します。AC'97 フロントパネルオーディオモジュールを接続するには、この項目を [AC'97] にします。初期設定ではこのコネクタは [HD Audio] に設定されています。詳細は「5.4.3 オンボードデバイス設定構成」をご参照ください。

## 12. ATX 電源コネクタ (24ピン EATXPWR、4ピン ATX12V)

ATX電源プラグ用のコネクタです。電源プラグは正しい向きでのみ、取り付けられるように設計されています。正しい向きでしっかりと挿し込んでください。



- システムの快適なご利用の為に、最低 400 W ATX 12 V 仕様 2.0 (またはそれ以降) 対応電源装置を使用することをお勧めします。
- 4 ピン EATX12V 電源プラグを必ず接続してください。システムが起動しなくなります。
- 大量に電力を消費するデバイスを使用する場合は、高出力の電源装置の使用をお勧めします。電源装置の能力が不十分だと、システムが不安定になる、またはシステムが起動できなくなる等の問題が発生する場合があります。
- ATX 12 V 仕様 2.0 対応 (400W) 電源装置は、以下の条件でテストした結果、本マザーボードの使用上問題がありません。

CPU: Intel® Pentium® Extreme 3.73GHz

メモリ: 512 MB DDR2 (x4)

ビデオカード: ASUS EAX1900XT

Parallel ATA デバイス: IDE ハードディスクドライブ

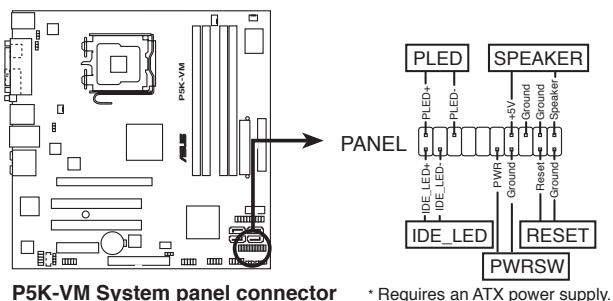
Serial ATA デバイス: SATA ハードディスクドライブ (2 台)

光学ドライブ: DVD-RW

- ハイエンド PCI Express x16 カードを 2 枚使用する場合は、500W ~ 600W、またはそれ以上の電源装置をご使用ください。

### 13. システムパネルコネクタ (20-8 ピン PANEL)

これらのコネクタはケースに付属する各機能に対応しています。



- **システム電源 LED (2 ピン PLED)**

システム電源LED用です。ケース電源LEDケーブルを接続してください。システムの電源LEDはシステムの電源をオンにすると点灯し、システムがスリープモードに入ると点滅します。

- **HDD Activity LED (2ピン IDE\_LED)**

HDDActivity LED用です。HDDActivity LEDケーブルを接続してください。IDE LEDは、HDD でデータの読み書きが行われているときに点灯するか点滅します。

- **ビーブ (Beep) スピーカー (4 ピン SPEAKER)**

ケース取り付けのビーブスピーカー用です。スピーカーはその鳴り方でシステムの不具合を報告し、警告を発します。

- **ATX 電源ボタン/ソフトオフボタン (2 ピン PWRSW)**

システムの電源ボタン用です。電源ボタンを押すとシステムの電源がオンになります。また BIOS の設定によってはシステムをスリープモードまたはソフトオフモードにすることができます。システムがオンになっているときに電源スイッチを押すと、システムの電源はオフになります。

- **リセットボタン (2 ピン RESET)**

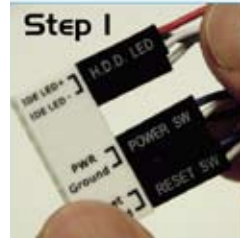
ケースに付属のリセットボタン用です。システムの電源をオフにせずにシステムを再起動します。

## ASUS Q-Connector (システムパネル)

ASUS Q-Connector でケースフロントパネルケーブルの取り付け/取り外しが以下の手順で簡単に行えます。下は取り付け方法です。

### Step1.

フロントパネルケーブルを  
ASUS Q-Connector に接続します。  
向きはQ-Connector 上にある表示を参考に  
し、フロントパネルケーブルの表示と一致する  
ように接続してください。



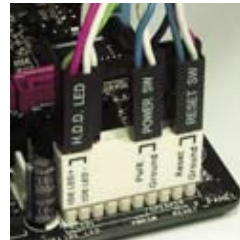
### Step2.

ASUS Q-Connector をシステムパネルコネク  
タに取り付けます。



### Step3.

フロントパネル機能が有効になりました。





# Chapter 5

BIOSセットアップメニューでのシステム  
設定、変更方法、BIOSパラメータの説明。



ASUS P3-P5G33

BIOSのセットアップ

## 5.1 BIOS 管理更新

次のユーティリティを使って、マザーボードのベーシックインプット/アウトプットシステム (BIOS) の管理更新を行います。

1. ASUS Update (Windows® 環境で BIOS を更新)
2. ASUS EZ Flash 2 (フロッピーディスク、USB フラッシュメモリを使用して BIOS を更新。)
3. ASUS AFUDOS (ブートフロッピーディスクを使用して BIOS を更新)
4. ASUS CrashFree BIOS 3 (BIOS がダメージを受けた場合、ブートフロッピーディスク/USBフラッシュメモリ/マザーボードサポート CD を使用して BIOS を更新)

ユーティリティの詳細については、このページ以降の名説明を参照してください。



---

BIOS を復旧できるように、オリジナルのマザーボード BIOS ファイルをブートフロッピーディスク/ USBフラッシュメモリにコピーしてください。BIOS のコピーには ASUS Update または AFUDOS を使用します。

---

### 5.1.1 ASUS Update

ASUS Update は、Windows® 環境でマザーボードの BIOS を管理、保存、更新するユーティリティです。以下の機能を実行することができます。

- ・ マザーボードの BIOS ファイルを保存する
- ・ インターネットから最新の BIOS ファイルをダウンロードする
- ・ 最新の BIOS ファイルに BIOS を更新する
- ・ インターネットから直接 BIOS を更新する
- ・ BIOS のバージョン情報を表示する

このユーティリティはマザーボードに付属しているサポート CD からインストールします。



---

ASUS Update でインターネットを使用した機能を使用するためには、インターネット接続が必要です。

---

### ASUS Update をインストールする

手順

1. 光学ドライブにサポート CD をセットします。ドライバメニューが表示されます。
2. Utilities タブをクリックし、「Install ASUS Update」をクリックします。
3. ASUS Update ユーティリティがシステムにインストールされます。

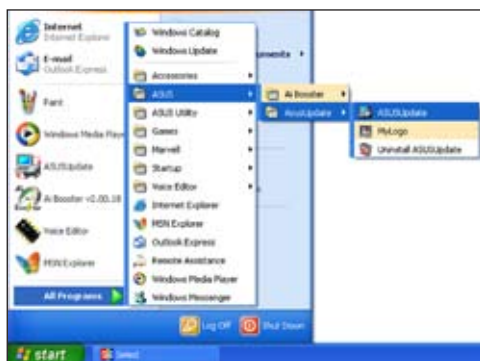


このユーティリティを使用して BIOS を更新する場合は、すべての Windows® アプリケーションを終了してください。

## インターネットを通してBIOSを更新する

### 手順

1. スタートメニュー → プログラム → ASUS → ASUSUpdate → ASUSUpdate をクリックします。ASUS Update ユーティリティを起動すると、ASUS Update メインウィンドウが表示されます。



2. ドロップダウンメニューから、「Update BIOS from the internet」を選択し、「Next」をクリックします。
3. 最寄りの ASUS FTP サイトを選択するか、「AutoSelect」をクリックし、「Next」をクリックします。

- 

ASUS  
V5.00

Select the BIOS Version

Please select the version you want

Please choose BIOS file from combo box.

Please choose


Please choose

1301 (05/17/2003)

1302 (05/17/2003)

1303 (05/17/2003)

- 
- The image shows the ASUS Update BIOS Utility v5.27 interface. It features a large key-shaped graphic on the left with the ASUS logo and 'v5.27' text. On the right, a yellow banner reads 'Select the Update Method'. Below this, a list of four update methods is provided: 1. Update/Save BIOS from a file, 2. Update BIOS from the Internet (with a sub-option to update using a specified BIOS image file on an ASUS web site), 3. Download BIOS from the Internet (with a sub-option to download a specified BIOS image file via Internet for later usage), and 4. Check BIOS Information. A screenshot of the 'Update BIOS from a file' option is shown in the bottom right corner, displaying a file explorer view with 'Update BIOS from a file' selected.
- ASUS**  
Update  
v5.27
- Select the Update Method**
1. Update/Save BIOS from a file
  2. Update BIOS from the Internet
    - Update using BIOS using a specified BIOS image file on ASUS web site
  3. Download BIOS from the Internet
    - Download a specified BIOS image file via Internet for later usage
  4. Check BIOS Information
- Update BIOS from a file  
Save current BIOS to a file  
Update BIOS from a file  
Update BIOS from the Internet  
Download BIOS from the Internet  
Check BIOS Information  
Options

- 

## 5.1.2 ブートフロッピーディスクを作成する

1. 次のいずれかの方法でブートフロッピーディスクを作成します。


### DOS 環境

- a. ドライブに1.44MBのフロッピーディスクを挿入します。
- b. DOSプロンプトで、**format A:/S**を入力し、<Enter>を押します。

### Windows® XP 環境

- a. 1.44 MBのフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入します。
- b. Windows® のデスクトップからスタートをクリックし、マイコンピュータを選択します。
- c. 3.5 インチフロッピーディスクドライブアイコンを選択します。
- d. マウスを右クリックし、コンテキストメニューからフォーマットを選択します。  
3.5 インチフロッピーディスクのフォーマットウィンドウが表示されます。
- e. フォーマットオプションから、「**MS-DOSの起動ディスクを作成する**」を選択し、「**開始**」をクリックします。

### Windows® Vista 環境

- a. フォーマット済みの 1.44 MB フロッピーディスクをドライブに挿入します。
  - b. デスクトップから  アイコンをクリックし、「**コンピュータ**」を選択します。
  - c. **フロッピーディスクドライブ**を右クリックし、「**フォーマット**」をクリックして「フォーマット -3.5 インチ FD」のダイアログボックスを表示します。
  - d. 「**MS-DOSの起動ディスクを作成する**」のチェックボックスを選択します。
  - e. 「**開始**」をクリックします。
2. オリジナルまたは最新のマザーボードのBIOSファイルをブートフロッピーディスクにコピーします。

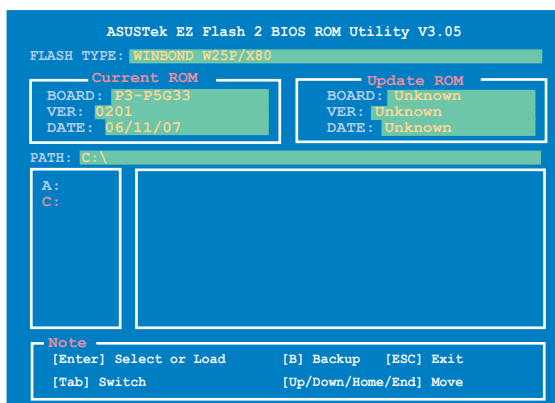
## 5.1.3 ASUS EZ Flash 2

ASUS EZ Flash 2 はブートフロッピーディスクや DOS ベースのユーティリティを使うことなく、BIOS を短時間で更新します。このユーティリティは内蔵の BIOS チップですので、システム起動時の自己診断テスト(POST)中に、<Alt> + <F2> を押すことで起動することができます。

EZ Flash 2 を使用して BIOS を更新する手順

1. ASUS Webサイト (www.asus.co.jp) にアクセスして、マザーボード用の最新の BIOS ファイルをダウンロードします。
2. BIOS ファイルをフロッピーディスクまたは USBフラッシュメモリに保存し、システムを再起動します。
3. EZ Flash 2 を 起動する方法には以下の2つがあります。
  - (1) BIOS ファイルを保存したフロッピーディスク / USBフラッシュメモリをフロッピーディスクドライブまたは USB ポートに挿入します。

POST 中に <Alt> + <F2> を押すと下の画面が表示されます。



- (2) BIOS セットアッププログラムで、Tools メニューに進み EZ Flash2 を選択して <Enter> を押します。  
<Tab> を使ってドライブを変更し <Enter> を押します。
4. BIOS ファイルが検出されると EZ Flash 2 が BIOS をアップデートし、システムが自動的に再起動されます。



- **FAT 32/16** フォーマットでシングルパーティションのUSBフラッシュメモリ、フロッピーディスク等のデバイスのみをサポートします。
- BIOS を更新中にシステムのシャットダウンやリセットを行わないでください。システム起動エラーの原因となります。

## 5.1.4 AFUDOS

AFUDOS ユーティリティは、BIOS ファイルを保存したブートフロッピーディスクを使用して、DOS 環境で BIOS ファイルを更新します。また、このユーティリティで現在の BIOS ファイルをバックアップ用に保存しておくこともできます。

### 現在のBIOSをコピーする

AFUDOS ユーティリティを使用して現在の BIOS ファイルをコピーします。



- フロッピーディスクは書き込み可能なもので、ファイルを保存するために少なくとも 1024KB の空き容量が必要です。
- 説明で使用している BIOS の画面は一例です。実際の BIOS 画面とは、異なる場合があります。

1. マザーボードサポート CD 内に収録された AFUDOS ユーティリティ (afudos.exe) をブートフロッピーディスクにコピーします。
2. ブートフロッピーディスクからシステムを起動し、プロンプトで以下のように入力します。

**afudos /o[filename]**

[filename]は自由に決めることができます。入力可能な名前は、8文字以下の英数字のファイル名と3文字の英数字の拡張子です。

```
A:\>afudos /oOLDBIOS1.rom
```

ファイル名    拡張子

3. <Enter>を押します。マザーボードの BIOS ファイルがフロッピーディスクにコピーされます。

```
A:\>afudos /oOLDBIOS1.rom
AMI Firmware Update Utility - Version 1.19 (ASUS V2.07 (03.11.24BB))
Copyright (C) 2002 American Megatrends, Inc. All rights reserved.
Reading flash ..... done
Write to file..... ok
A:\>
```

BIOS ファイルがコピーされると、DOS プロンプトに戻ります。

### BIOSファイルを更新する

AFUDOS ユーティリティを使用して BIOS ファイルを更新する手順

1. ASUS Web サイト ([www.asus.co.jp](http://www.asus.co.jp)) にアクセスして、マザーボード用の最新の BIOS ファイルをダウンロードして、ブートフロッピーディスクに保存してください。



BIOSファイル名は紙などに書きとめてください。DOSプロンプトでBIOSファイル名を正確に入力する必要があります。

2. マザーボードサポート CD 内に収録されたAFUDOS ユーティリティ (afudos.exe) をブートフロッピーディスクにコピーします。
3. ブートフロッピーディスクからシステムを起動し、プロンプトで以下のように入力します。

```
afudos /i[filename]
```

[filename] は、BIOS ファイル名です。

```
A:\>afudos /iP3-P5G33.ROM
```

4. ファイルが確認されると、BIOS の更新が開始されます。

```
A:\>afudos /iP3-P5G33.ROM
AMI Firmware Update Utility - Version 1.19 (ASUS V2.07 (03.11.24BB))
Copyright (C) 2002 American Megatrends, Inc. All rights reserved.

WARNING!! Do not turn off power during flash BIOS
Reading file ..... done
Reading flash ..... done

Advance Check .....
Erasing flash ..... done
Writing flash ..... 0x0008CC00 (9%)
```



BIOS の更新中にシステムのシャットダウンやリセットを行わないでください。システムエラーの原因となります。

5. BIOS の更新プロセスが完了すると、DOS プロンプトに戻ります。HDDからシステムを再起動してください。

```
A:\>afudos /iP3-P5G33.ROM
AMI Firmware Update Utility - Version 1.19 (ASUS V2.07 (03.11.24BB))
Copyright (C) 2002 American Megatrends, Inc. All rights reserved.

WARNING!! Do not turn off power during flash BIOS
Reading file ..... done
Reading flash ..... done

Advance Check .....
Erasing flash ..... done
Writing flash ..... done
Verifying flash .... done

Please restart your computer

A:\>
```



## 5.1.5 ASUS CrashFree BIOS 3

ASUS CrashFree BIOS 3 は BIOS の自動復旧ツールで、BIOS 更新時に障害を起こした場合や破損した BIOS ファイルを復旧します。破損した BIOS ファイルはサポート CD、または BIOS ファイルを保存したフロッピーディスク/USB フラッシュメモリで更新することができます。



- このユーティリティを使用する前に、サポート CD または BIOS を保存したフロッピーディスク/USB フラッシュメモリをお手元にご用意ください。
- SATA 光学ドライブを使用する場合は、SATA ケーブルを常に SATA1/SATA2 コネクタに接続してください。それ以外の場合では、ユーティリティが機能しません。

### サポート CD から BIOS を復旧する

#### 手順

1. システムの電源をオンにします。
2. サポート CD を光学ドライブに挿入します。
3. 下のメッセージが表示され、CD の BIOS ファイルが自動的にチェックされます。

```
Bad BIOS checksum. Starting BIOS recovery...
Checking for floppy...
```

BIOS が検出されると、BIOS ファイルを自動的に読み込み、破損した BIOS ファイルを更新します。

```
Bad BIOS checksum. Starting BIOS recovery...
Checking for floppy...
Floppy found!
Reading file "P3-P5G33.ROM". Completed.
Start flashing...
```

4. 更新作業が完了したらシステムを再起動してください。

### USB フラッシュメモリから BIOS を復旧する

#### 手順

1. BIOS ファイルを保存した USB フラッシュメモリを USB ポートにセットします。
2. システムをオンにします。
3. デバイスが検出されると自動的に BIOS ファイルを読み込み、BIOS の更新が開始されます。
4. 更新作業が完了したらシステムを再起動します。



- ASUS CrashFree BIOS 3 は FAT 32/16 フォーマットでシングルパーティションの USB フラッシュメモリのみをサポートします。デバイスサイズは 8GB 未満である必要があります。
- BIOS を更新している間に、システムのシャットダウンやリセットを行わないでください。システムの起動エラーの原因となります。

## 5.2 BIOS 設定プログラム

本マザーボードはプログラム可能な Low-Pin Count (LPC) チップを搭載しており、「5.1 BIOS 管理更新」で説明した付属ユーティリティを使用してBIOSの更新を行うことが可能です。

BIOS 設定プログラムは、マザーボードを取り付けた時や、システムの再構成をした時、または“Run Setup”を促された時に使用します。本項では、この機能を使用してコンピュータの設定をする方法を説明します。

BIOS 設定プログラムを使用するように指示されていない場合でも、コンピュータの設定を変更することができます。例えば、セキュリティパスワード機能を有効にする、または、電源管理設定を変更することができます。これらの設定を変更するためには、コンピュータがこれらの変更を認識し、LPC チップのCMOS RAMに記録できるように、BIOS設定プログラムを使用してコンピュータの設定を変更する必要があります。

マザーボードのLPCチップにはBIOS設定プログラムが搭載されています。BIOS 設定プログラムはコンピュータを起動するときに実行することができます。起動時の自己診断テスト (POST) の間に<Del>キーを押すとBIOS 設定プログラムが起動します。

POSTの終了後にBIOS 設定プログラムを実行したい場合は、以下の手順のいずれかを行うことでシステムを再起動します。

- OSのシャットダウン手順を利用した再起動
- <Ctrl+Alt+Delete>を押す
- ケースのリセットボタンを押す
- 電源ボタンを押してシステムをオフにし、それからまたオンにする



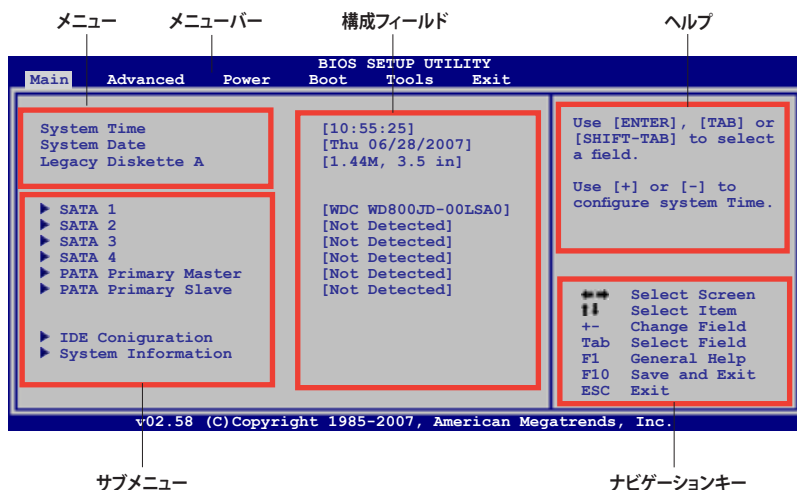
実行中のオペレーティングシステムからのリセットを強制する電源ボタン、リセットボタン、<Ctrl+Alt+Delete>キーの使用は、データ、システムに損傷を与える恐れがあります。常に、オペレーティングシステムから正しくシステムをシャットダウンすることをお勧めします。

BIOS 設定プログラムは簡単に使用できるように設計されています。メニュー画面から、ナビゲーションキーを使用してさまざまなサブメニューをスクロールする、使用可能なオプションから設定を選択することができます。



- このマザーボードの BIOSの初期設定値はほとんどの環境で、最適なパフォーマンスを実現できるように設定されています。BIOS 設定を変更した後システムが不安定になったら、初期設定値をロードしてください。初期設定値に戻すには、Exit メニューの下の「**Load Setup Defaults**」を選択します。(詳細は「**5.8 終了メニュー**」をご参照ください)
- 本書に掲載した BIOS の画面は一例であり、実際に表示される内容と異なる場合があります。
- 最新のBIOSはASUS Web サイト([www.asus.co.jp](http://www.asus.co.jp))からダウンロードしてください。

## 5.2.1 BIOSメニュー画面



## 5.2.2 メニューバー

スクリーン上部のメニューバーには、次の項目があります。

Main	基本システム設定の変更用
Advanced	拡張システム設定の変更用
Power	拡張電源管理 (APM/ACPI) 設定の変更用
Boot	システム起動設定の変更用
Tools	独自機能の設定オプション用
Exit	終了オプションと初期設定値のロード用

メニューバーの項目を選択するには、キーボードの右または左の矢印キーを使って、項目をハイライト表示させます。

## 5.2.3 ナビゲーションキー

BIOS メニュー画面の右下には、メニューの操作をするためのナビゲーションキーの説明が表示されています。ナビゲーションキーを使用してメニューの項目を選択し、設定を変更します。



掲載した BIOS の画面は一例であり、実際に表示される内容と異なる場合があります。

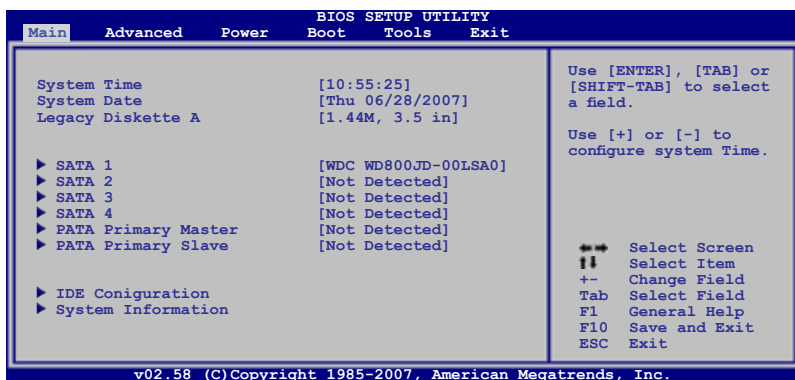


## 5.3 メインメニュー

BIOS 設定プログラムに入ると、メインメニューが表示され、システム情報の概要が表示されます。



メニュー画面の情報および操作方法については、「5.2.1 BIOS メニュー画面」をご参照ください。



### 5.3.1 System Time [xx:xx:xx]

システム時間を設定します。

### 5.3.2 System Date [Day xx/xx/xxxx]

システム日付を設定します。

### 5.3.3 Legacy Diskette A [1.44M, 3.5 in.]

フロッピーディスクドライブのタイプを設定します。

設定オプション: [Disabled] [720K, 3.5 in.] [1.44M, 3.5 in.]

## 5.3.4 SATA 1 - 4, PATA Primary Master/Slave

セットアップ中に BIOS は自動的に IDE デバイスを検出します。デバイスを選択し、<Enter>を押すと IDE デバイスの情報が表示されます。

BIOS SETUP UTILITY	
Main	
<b>SATA 1</b>	
Device	: Hard Disk
Vendor	: WDC WD800JD-00LSA0
Size	: 80.0GB
LBA Mode	: Supported
Block Mode	: 16 Sectors
PIO Mode	: 4
Async DMA	: MultiWord DMA-2
Ultra DMA	: Ultra DMA-5
SMART Monitoring	: Supported
<hr/>	
Type	[Auto]
LBA/Large Mode	[Auto]
Block (Multi-sector Transfer)	[Auto]
PIO Mode	[Auto]
DMA Mode	[Auto]
SMART Monitoring	[Auto]
32Bit Data Transfer	[Enabled]
<hr/>	
Select the type of device connected to the system.	
→	Select Screen
!!	Select Item
+ -	Change Option
F1	General Help
F10	Save and Exit
ESC	Exit
v02.58 (C)Copyright 1985-2007, American Megatrends, Inc.	

BIOSは、Device、Vendor、Size、LBA Mode、Block Mode、PIO Mode、Async DMA、Ultra DMA、SMART monitoring の各値を自動的に検出します。これらの項目の値は変更することはできません。また、システムに IDE デバイスが接続されていない場合は N/A と表示されます。

### Type [Auto]

IDEデバイスのタイプを選択します。[Auto]に設定すると、適切な IDE デバイスタイプを自動的に選択します。光学ドライブを接続している場合は[CDROM]を選択します。デバイスがZIP、LS-120、MOドライブのどれかであれば、[ARMD] (ATAPI リムーバブルメディアデバイス)を選択します。

設定オプション: [Not Installed] [Auto] [CDROM] [ARMD]



**PATA Primary Master/Slave** デバイスを選択した場合は、この項目は表示されません。

### LBA/Large Mode [Auto]

LBAモードの設定。デバイスがこのモードをサポートしている場合、[Auto]に設定すると、LBA モードが有効になります。デバイスが LBA モードでフォーマットされていない場合は無効になります。

設定オプション: [Disabled] [Auto]

### Block (Multi-sector Transfer) [Auto]

マルチセクタ転送の設定。[Auto]に設定すると、デバイスがマルチセクタ転送機能をサポートしていれば、デバイス間のデータ転送をマルチセクタで行います。[Disabled]に設定すると、デバイス間のデータ転送は1セクタごとに行います。

設定オプション: [Disabled] [Auto]

### PIO Mode [Auto]

PIOモードを選択します。

設定オプション: [Auto] [0] [1] [2] [3] [4]

### DMA Mode [Auto]

DMA モードを設定します。

設定オプション: [Auto] [SWDMA0] [SWDMA1] [SWDMA2] [MWDMA0] [MWDMA1] [MWDMA2] [UDMA0] [UDMA1] [UDMA2] [UDMA3] [UDMA4] [UDMA5]

### SMART Monitoring [Auto]

SMARTによる監視、分析、報告機能を設定します。

設定オプション: [Auto] [Disabled] [Enabled]

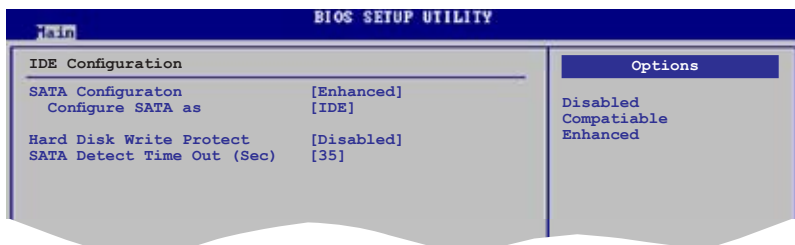
### 32Bit Data Transfer [Enabled]

32 bit データ転送を設定します。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

## 5.3.5 IDE Configuration

IDE デバイスの設定を変更します。設定を変更したい項目を選択し <Enter>を押します。



### SATA Configuration [Enhanced]

設定オプション: [Disabled] [Compatible] [Enhanced]

### Configure SATA As [IDE]

サウスブリッジチップがサポートしているSerial ATA コネクタを設定します。Serial ATA ハードディスクドライブを Parallel ATA 物理記憶デバイスとして利用する場合は、初期設定値の [IDE] を変更する必要はありません。

## Hard Disk Write Protect [Disabled]

ハードディスクにライトプロテクトを設定します。BIOS からのアクセスしか行わない場合に使用します。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

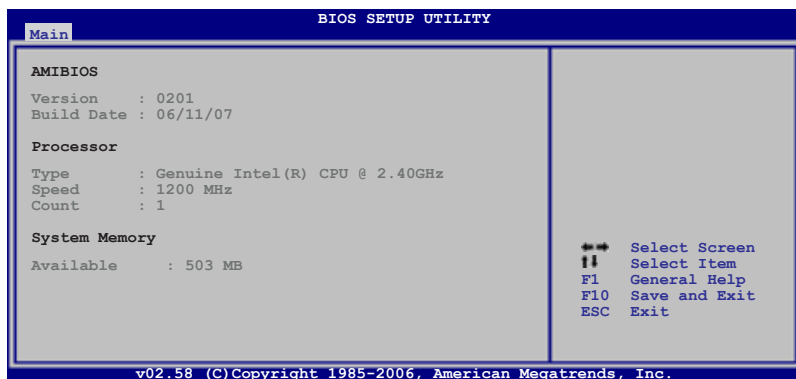
## SATA Detect Time Out (Sec) [35]

ATA/ATAPI デバイスの検出用にタイムアウトを設定します。

設定オプション: [0] [5] [10] [15] [20] [25] [30] [35]

## 5.3.6 システム情報

システム仕様の概要です。BIOS はさまざまな情報を自動的に検出します。



### AMI BIOS

自動検出された BIOS 情報を表示します。

### Processor

自動検出された CPU の仕様を表示します。

### System Memory

自動検出されたシステムメモリの容量を表示します。

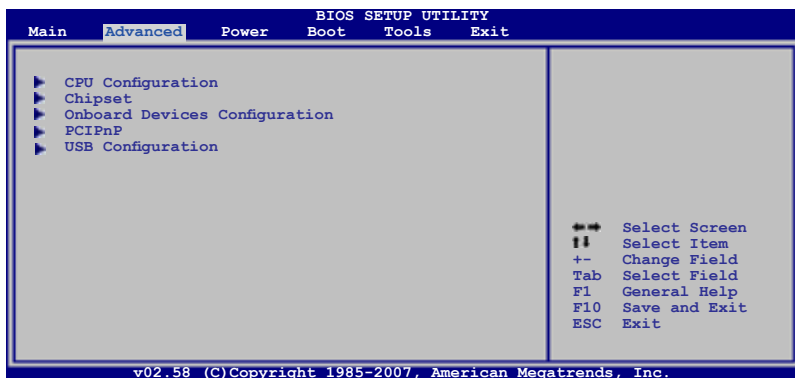


## 5.4 拡張メニュー

CPUとその他のシステムデバイスの設定を変更します。

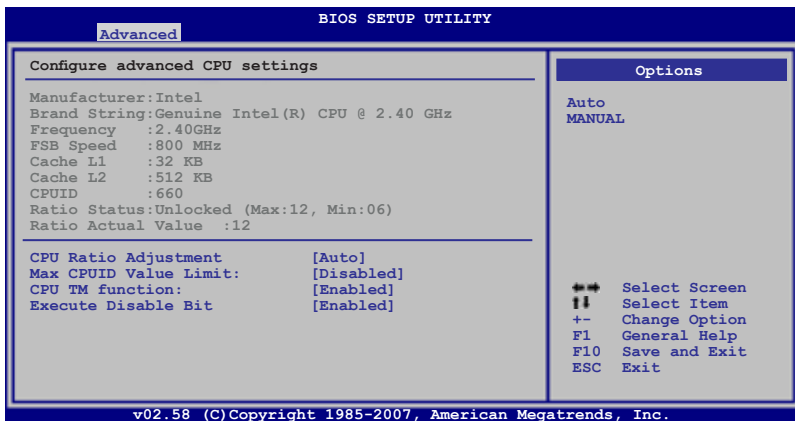


拡張メニューの設定変更は、システムの誤動作の原因となることがあります。十分に注意してください。



### 5.4.1 CPU の設定

BIOS が自動的に検出するCPU 関連の情報です。



### CPU Ratio Adjustment [Auto]

設定オプション: [Auto] [Manual]



次の項目は「CPU Ratio Control」の項目を [Manual] に設定すると表示されます。

*Ratio CMOS Setting: [12]*

<+> <-> キーを使用して CMOS 動作倍率の値を6 ~ 12 の間で選択します。

## Max CPUID Value Limit [Disabled]

[Enabled] に設定すると、拡張 CPUID 機能非対応 CPU でもレガシーオペレーティングシステムを起動することができます。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

## CPU TM Function [Enabled]

CPU TM Function を設定します。CPUID が 0F41H より下のプロセッサは、TM2 は以下の設定でのみ有効にすることができます。

1. 周波数  $\geq 3.6\text{GHz}$  FSB800

2. 周波数  $\geq 2.8\text{GHz}$  FSB533

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

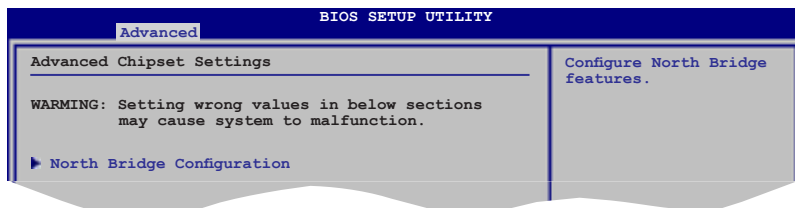
## Execute Disable Bit [Enabled]

No-Execution Page Protection Technology を設定します。[Disabled] に設定すると XD 機能フラグが常にゼロ(0)に戻ります。

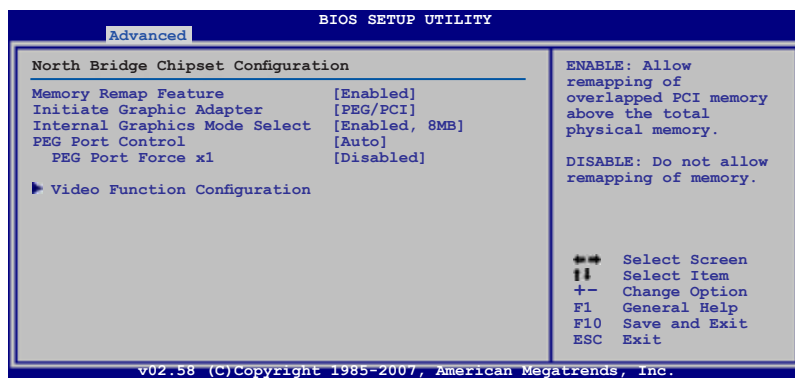
設定オプション: [Disabled] [Enabled]

## 5.4.2 チップセット

チップセットの設定を変更します。項目を選択し、<Enter> を押すとサブメニューを表示させることができます。



### North Bridge Chipset Configuration



### Memory Remap Feature [Enabled]

物理メモリ上の重複 PCI メモリのリマッピングを設定します。64bit OSをインストールしている場合のみ、[Enabled]にしてください。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

### Initiate Graphic Adapter [PEG/PCI]

プライマリブートデバイスに設定するビデオコントローラを選択します。

設定オプション: [IGD] [PCI/IGD] [PCI/PEG] [PEG/IGD][PEG/PCI]

### Internal Graphics Mode Select [Enabled, 8MB]

内部グラフィックスデバイスと、内部グラフィックスデバイスが使用するメモリの容量を設定します。

設定オプション: [Disabled] [Enabled, 1MB] [Enabled, 8MB]



PCIe x16 ビデオカードをPCIe x16 スロットに取り付ける場合は、この項目を [Disabled] に設定してください。

### PEG Port Control [Auto]

設定オプション: [Auto] [Disabled]

#### **PEG Force x1 [Disabled]**

この項目は「**PEG Port Control**」を [Auto] に設定すると表示されます。

設定オプション: [Enabled] [Disabled]



以下の項目は「**Internal Graphics Mode Select**」を [Enabled, 1MB] または [Enabled, 8MB] に設定すると表示されます。

#### **DVMT Mode Select [DVMT Mode]**

設定オプション: [Fixed Mode] [DVMT Mode]

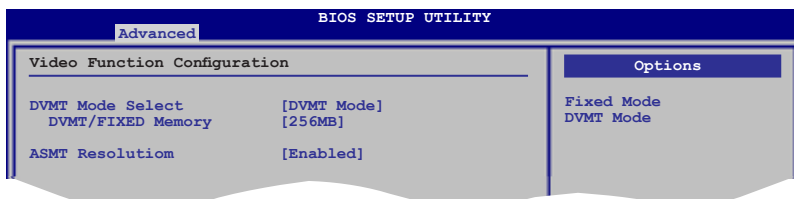
#### **DVMT/FIXED Memory [256MB]**

設定オプション: [128MB] [256MB]

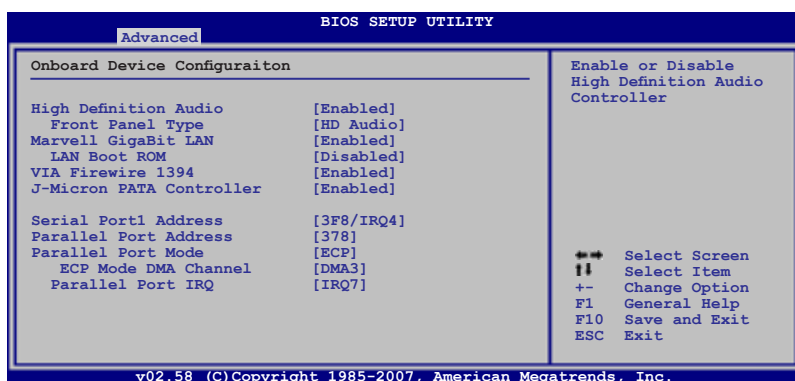
### ASMT Resolution [Enabled]

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

### Video Function Configuration



## 5.4.3 オンボードデバイス設定構成



### High Definition Audio [Enabled]

HD オーディオコントローラを設定します。次の項目はこの項目を [Enabled] にすると表示されます。

設定オプション: [Enabled] [Disabled]

#### Front Panel Type [HD Audio]

フロントパネルオーディオコネクタ(AAFP) モードを、フロントパネルオーディオモジュールのサポートする規格に従って、レガシーAC'97 または HD オーディオに設定します。

設定オプション: [AC97] [HD Audio]

### Marvell GigaBit LAN [Enabled]

設定オプション: [Enabled] [Disabled]

#### LAN Boot ROM [Disabled]

「Marvel Gigabit LAN」を [Enabled] に設定した場合のみ表示されます。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

### VIA Firewire1394 [Enabled]

オンボード 1394 デバイスのサポートを切り替えます。

設定オプション: [Enabled] [Disabled]

### J-Micron PATA Controller [Enabled]

JMicron® PATA コントローラの有効・無効を切り替えます。

設定オプション: [Enabled] [Disabled]

### Serial Port1 Address [3F8/IRQ4]

Serial Port1 ベースアドレスを選択します。

設定オプション: [Disabled] [3F8/IRQ4] [2F8/IRQ3] [3E8/IRQ4] [2E8/IRQ3]

## Parallel Port Address [378]

Parallel Port ベースアドレスを選択します。  
設定オプション: [Disabled] [378] [278] [3BC]

## Parallel Port Mode [ECP]

Parallel Port モードを選択します。  
設定オプション: [Normal] [Bi-Directional] [EPP] [ECP]

### ECP Mode DMA Channel [DMA3]

「Parallel Port Mode」を [ECP] に設定した場合のみ表示されます。Parallel ポート ECP DMA を設定することができます。  
設定オプション: [DMA0] [DMA1] [DMA3]

### EPP Version [1.9]

「Parallel Port Mode」を [EPP] に設定した場合のみ表示されます。Parallel ポート EPP バージョンを選択することができます。  
設定オプション: [1.9] [1.7]

### Parallel Port IRQ [IRQ7]

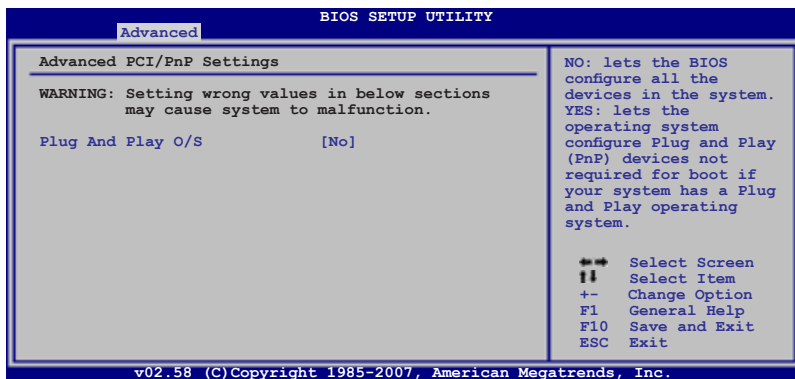
設定オプション: [IRQ5] [IRQ7]

## 5.4.4 PCIPnP

PCI/PnP デバイスの設定を変更します。



PCIPnP メニューの設定変更は、システムの誤動作の原因となることがあります。十分に注意してください。

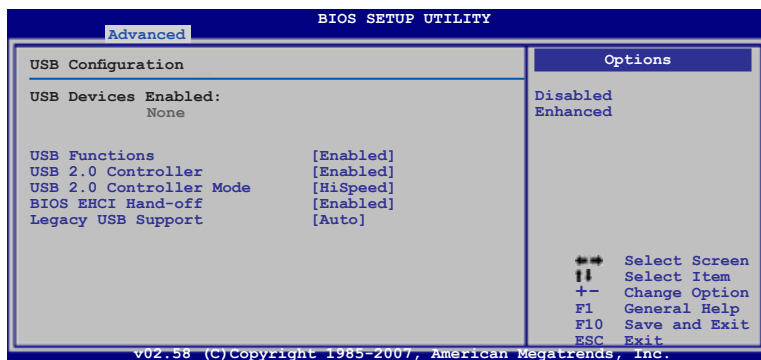


### Plug And Play O/S [No]

[No] にすると、システム内の全てのデバイスはBIOSにより構成されます。[Yes] にし、Plug and Play OSをインストールしている場合は、起動に不要な Plug and Play デバイスは全てOSにより構成されます。  
設定オプション: [No] [Yes]

## 5.4.5 USB 設定

USB関連機能の変更をすることができます。項目を選択し<Enter>を押して設定オプションを表示させてください。



「USB Devices Enabled」の項目には自動検出した値が表示されます。USB デバイスが検出されない場合は「None」と表示されます。

### USB Functions [Enabled]

USB の各機能を設定します。以下の詳細設定の項目はこの項目を [Enabled] にすると表示されます。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

### USB 2.0 Controller [Enabled]

USB 2.0 コントローラを設定します。

設定オプション: [Enabled] [Disabled]

### USB 2.0 Controller Mode [HiSpeed]

USB 2.0 コントローラのモードを設定します。[HiSpeed] (480 Mbps) または [FullSpeed] (12 Mbps) から選択します。この項目「USB 2.0 Controller」の項目を有効にした場合のみ表示されます。

設定オプション: [FullSpeed] [HiSpeed]

### BIOS EHCI Hand-off [Enabled]

[Enabled]に設定することによって、EHCI ハンドオフ機能のない OS でも問題なく動作させることができます。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

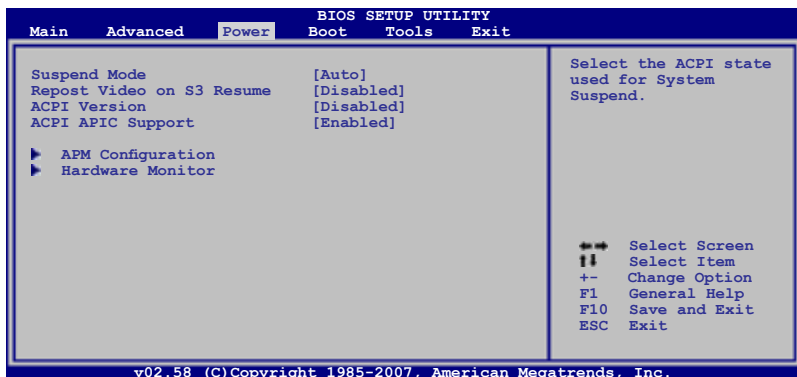
### Legacy USB Support [Auto]

レガシーUSB デバイスの設定です。[Auto] に設定すると、起動時に USB デバイスを検出します。USB デバイスが検出されると、USBコントローラのレガシーモードが有効になり、検出されないとレガシー USB のサポートは無効になります。

設定オプション: [Disabled] [Enabled] [Auto]

## 5.5 電源メニュー

ACPI と APM 機能の設定の変更を行います。項目を選択し、<Enter>を押すと設定オプションが表示されます。



### 5.5.1 Suspend Mode [Auto]

システムのサスペンドに使用される、ACPI の状態を選択します。

設定オプション: [S1 (POS) Only] [S3 Only] [Auto]

### 5.5.2 Repost Video on S3 Resume [Disabled]

S3/STR レジュームでVGA BIOS POSTを呼び出します。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

### 5.5.3 ACPI Version [Disabled]

ACPI (Advanced Configuration and Power Interface) のバージョンを選択します。

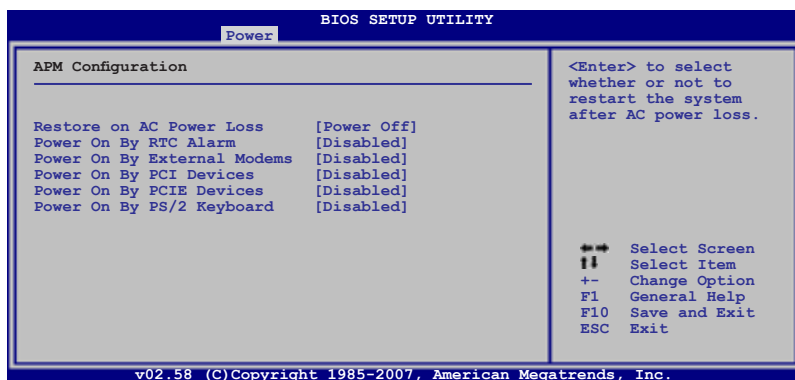
設定オプション: [Disabled] [Enabled]

### 5.5.4 ACPI APIC Support [Enabled]

APIC が、ACPI をサポートするかどうかを設定します。[Enabled] に設定すると、ACPI 設定内のRSDT ポインタリストにAPIC テーブルのポインタが追加されます。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

## 5.5.5 APMの設定



### Restore On AC Power Loss [Power Off]

[Power Off]に設定すると、停電などで電力が遮断された場合に再通電時に電源をオフにします。また、[Power On]に設定すると、再通電時に電源をオンにします。[Last State]に設定すると、再通電時に、直前の電源状態に戻ります。

設定オプション: [Power Off] [Power On] [Last State]

### Power On By RTC Alarm [Disabled]

ウェイクアップイベントを作成する RTC を設定します。この項目を [Enabled] に設定すると、アラームの日時がユーザー設定可能になります。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

### Power On By External Modems [Disabled]

コンピュータがソフトオフモードになっているときに、外部モデムが受信した場合に、コンピュータの電源をオンにするかどうかを設定します。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]



コンピュータとアプリケーションが完全に実行するまで、データの送受信はできません。従って、最初の試行では接続を行えません。コンピュータがオフになっている間に外部モデムをオフにしてから再びオンにすると、初期ストリングがシステム電源をオンにします。

### Power On By PCI Devices [Disabled]

PCI デバイスを使用して S5 状態から PME ウェイクアップする機能を設定します。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]



## Power On By PCIE Devices [Disabled]

PCI Express デバイスを使用してウェイクアップする機能を設定します。

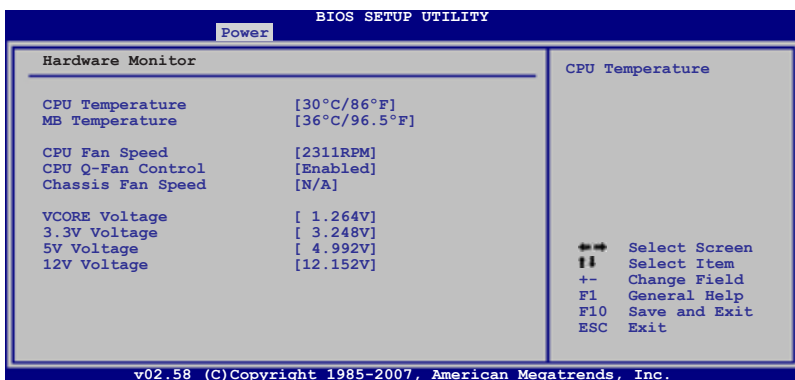
設定オプション: [Disabled] [Enabled]

## Power On By PS/2 Keyboard [Disabled]

PS/2 キーボードで電源オンにする機能を無効にできます。また、キーボードの特定のキーを使用してシステムの電源をオンにできます。この機能は、+5V SB リード線で最低1A を供給する ATX 電源を必要とします。

設定オプション: [Disabled] [Space Bar] [Ctrl-Esc] [Power Key]

## 5.5.6 ハードウェアモニタ



### CPU Temperature [xxx°C/xxx°F]

### MB Temperature [xxx°C/xxx°F]

オンボードハードウェアモニタは マザーボードとCPUの温度を自動的に検出して表示します。[Ignored]にすると表示されなくなります。

### CPU Fan Speed [xxxxRPM]、[Ignored]、[N/A]

CPUファンスピードを自動的に検出して回転数/分 (RPM) の単位で表示します。マザーボードにファンが取り付けられていない場合、このフィールドには[N/A]と表示されます。

### CPU Q-Fan Control [Enabled]

CPU Q-Fan コントローラを設定します。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]



---

「**CPU Fan Profile**」の項目は「CPU Q-Fan Control」の項目を有効にすると表示されます。

---

### **CPU Fan Profile [Optimal]**

CPU ファンパフォーマンスを設定します。[Optimal] に設定すると、CPU ファンをCPU 温度に合わせて自動的に調節します。[Silent Mode] に設定すると、ファンスピードを最低限に抑え、静音環境を実現します。[Performance Mode] に設定するとCPU ファンスピードは最大になります。

設定オプション：[Optimal] [Silent Mode] [Performance Mode]

### **Chassis Fan Speed [xxxxRPM]、[Ignored]、[N/A]**

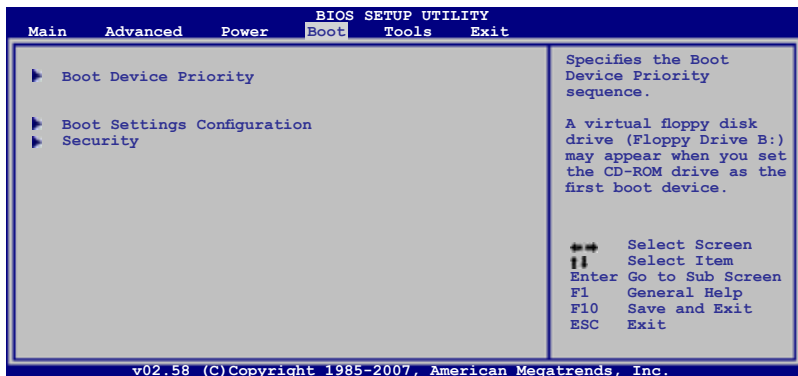
ケースファンスピードを自動的に検出して回転数/分 (RPM) の単位で表示します。マザーボードにファンが取り付けられていない場合、このフィールドには [N/A] と表示されます。

### **Vcore Voltage、3.3V Voltage、5V Voltage、12V Voltage**

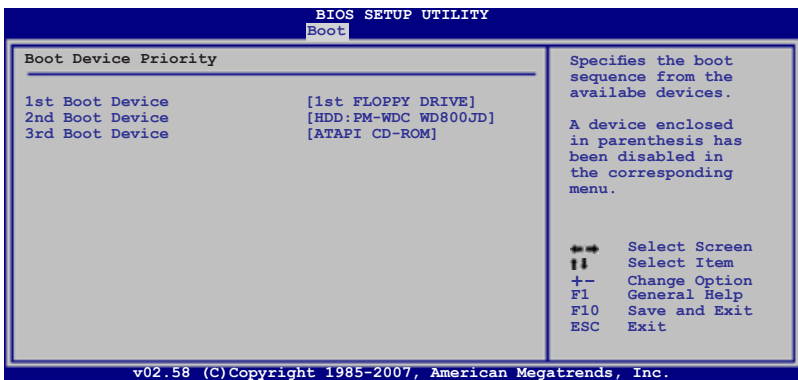
オンボード電圧レギュレータを通じ、自動的に電圧出力を検出して表示します。  
[Ignored] にすると表示されなくなります。

## 5.6 ブートメニュー

システムをブートする際のオプションを変更します。<Enter> を押してサブメニューを表示します。



### 5.6.1 ブートデバイスの優先順位

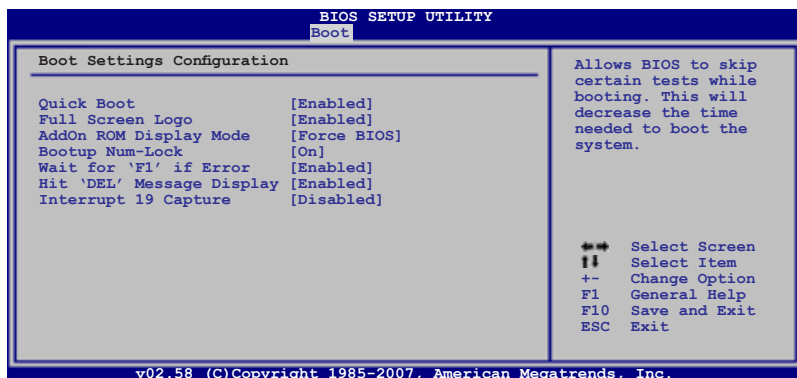


#### 1st ~ xxth Boot Device [xxx Drive]

ブートさせるデバイスの優先順位を指定します。画面に表示されるデバイスの数は、ブート可能なデバイスの数です。

設定オプション: [xxx Drive] [Disabled]

## 5.6.2 起動設定



### Quick Boot [Enabled]

起動中にいくつかの自己診断テスト(POST)をスキップして、システムの起動をスピードアップさせます。[Disabled] に設定しているときは、BIOS はすべての POST 項目を実行します。  
設定オプション: [Disabled] [Enabled]

### Full Screen Logo [Enabled]

フルスクリーンロゴの表示/非表示を切り替えます  
設定オプション: [Disabled] [Enabled]



ASUS MyLogo2™ 機能をご利用になる場合は「Full Screen Logo」の項目を [Enabled] に設定してください。

### AddOn ROM Display Mode [Force BIOS]

オプション ROM に対するディスプレイのモードを設定します。  
設定オプション: [Force BIOS] [Keep Current]

### Bootup Num-Lock [On]

電源をオンにしたときの、NumLock の状態を選択します。  
設定オプション: [Off] [On]

### Wait for 'F1' If Error [Enabled]

[Enabled] に設定するとシステムはエラー発生時に<F1> キーを押すまで待機します。  
設定オプション: [Disabled] [Enabled]

### Hit 'DEL' Message Display [Enabled]

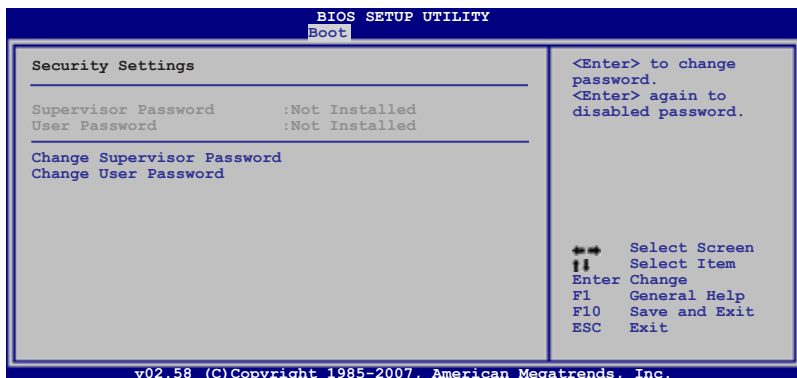
[Enabled] に設定すると、POST 中に「Press DEL to run Setup (Delete キーでBIOSメニューを表示)」というメッセージが表示されます。  
設定オプション: [Disabled] [Enabled]

### Interrupt 19 Capture [Disabled]

[Enabled] に設定すると、オプションROM (SCSI や IDE RAID の BIOS等) が Int 19 を検出可能になります。  
設定オプション: [Disabled] [Enabled]

### 5.6.3 セキュリティ

システムセキュリティ設定を変更します。項目を選択し、<Enter> を押すと設定オプションが表示されます。



#### Change Supervisor Password

管理者パスワードの設定または変更を行います。画面上部に表示されている「Supervisor Password」は、初期設定値は「Not Installed」になっています。パスワードを設定すると、「Installed」に変更されます。

管理者パスワードの設定手順

1. 「Change Supervisor Password」を選択し、<Enter>を押します。
2. 「password box」で、6 文字以上の英数字からなるパスワードを入力し、<Enter>を押します。
3. パスワードの確認を要求されたら、もう一度パスワードを入力します。パスワードの設定が完了すると、「Password Installed」というメッセージが表示されます。

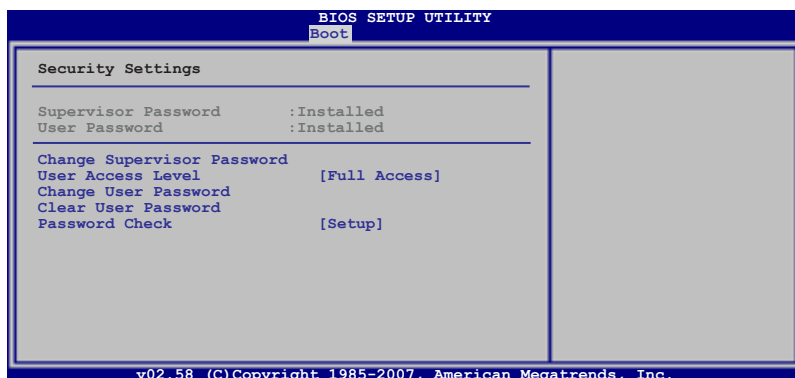
管理者パスワードを変更する場合は、設定と同じ手順に従います。

管理者パスワードの消去は、「Change Supervisor Password」を選択し、<Enter> を押します。消去すると「Password Uninstalled」というメッセージが表示されます。



管理者パスワードを忘れた場合、CMOS リアルタイムクロック(RTC) RAM を消去してパスワードをクリアすることができます。RTC RAM を消去する方法については、「4.3 ジャンプ」のページをご参照ください。

管理者パスワードを設定すると、他のセキュリティ設定を変更するための項目が表示されます。



## User Access Level [Full Access]

BIOSメニューへのアクセス制限の選択。

設定オプション: [No Access] [View Only] [Limited] [Full Access]

[No Access]、BIOSメニューへのユーザーのアクセスを拒否します。

[View Only]、アクセスは許可しますが設定の変更はできません。

[Limited]、日時など、限られた設定のみを変更することができます。

[Full Access]、すべての項目を表示、変更することができます。

## Change User Password

ユーザーパスワードの設定または変更をします。画面上部に表示されている「User Password」は初期設定値では「Not Installed」になっています。パスワードを設定すると、「Installed」に変更されます。

ユーザーパスワードの設定手順

1. 「Change User Password」を選択し、<Enter>を押します。
2. 「password box」で、6 文字以上の英数字からなるパスワードを入力し、<Enter>を押します。
3. パスワードの確認を要求されたら、もう一度パスワードを入力します。パスワードの設定が完了すると、「Password Installed」というメッセージが表示されます。

ユーザーパスワードを変更する場合は、設定と同じ手順で行います。

## Clear User Password

ユーザーパスワードをクリアします。

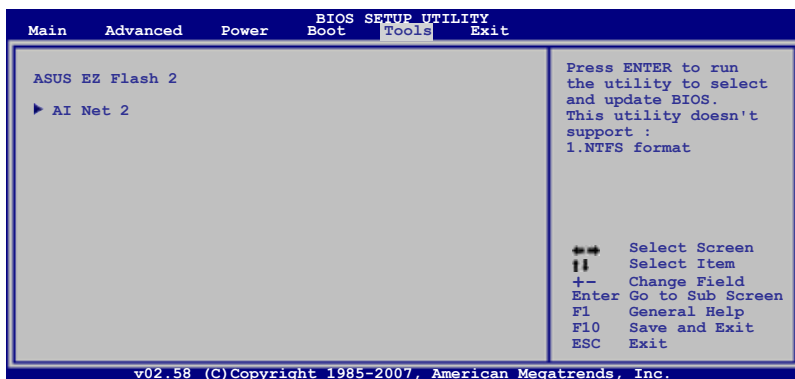
## Password Check [Setup]

この項目を[Setup] に設定すると、BIOS はBIOSメニューへのアクセス時に、ユーザーパスワードの入力を要求します。[Always] に設定すると、BIOS はBIOSメニューへのアクセス時と、システムの起動時に、ユーザーパスワードの入力を要求します。

設定オプション: [Setup] [Always]

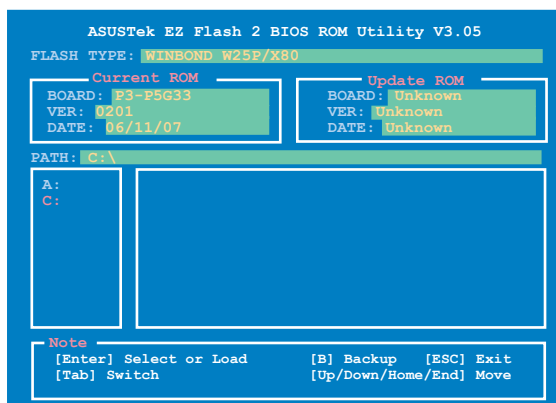
## 5.7 ツールメニュー

独自機能のオプション設定をします。項目を選択し<Enter>を押してサブメニューを表示させます。

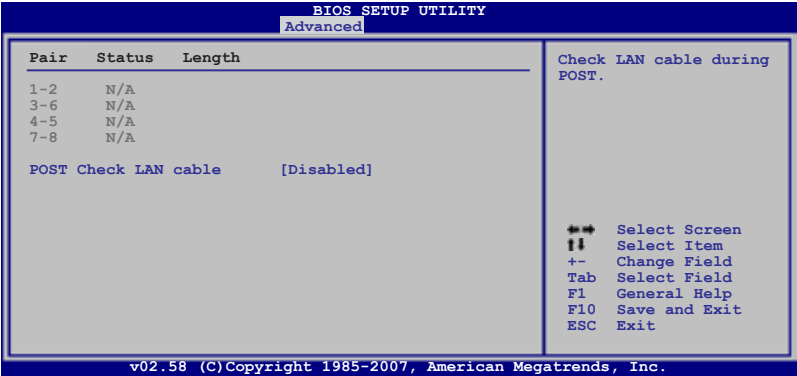


### 5.7.1 ASUS EZ Flash 2

ASUS EZ Flash 2 を起動します。<Enter>を押すと、確認メッセージが表示されます。左右矢印キーを使って [OK] または [Cancel] を選択し<Enter>を押して選択を決定します。詳細はセクション 5.1.3 をご参照ください。



# 5.7.2 AI Net 2



## POST Check LAN Cable [Disabled]

POST中の LAN ケーブルのチェックを設定します。  
 設定オプション: [Disabled] [Enabled]



## 5.8 終了メニュー

BIOS 設定の保存や取り消しのほか、初期設定値の読み込みを行います。



<Esc> を押してもこのメニューは終了しません。Exit メニューからいずれかの項目を選択するか、<F10> を押して終了します。

### Exit & Save Changes

BIOSの設定が終了したら、「Exit」メニューからこのオプションを選択し、設定をCMOS RAMに保存して終了します。オンボード用のバックアップで搭載されているバッテリーは、コンピュータの電源がオフになっているときでもBIOSの設定内容を保存します。この項目を選択すると、確認ウィンドウが表示されます。「YES」を選択すると、変更を保存して終了します。



設定を保存せずに<ESC>でBIOSメニューを終了しようとする、終了する前に変更を保存しますかと尋ねるメッセージが表示されます。その場合は<Enter> 押して変更を保存します。

### Exit & Discard Changes

BIOSメニューで行った設定を保存したくないときに、この項目を選択します。ただし、システムの日付、システム時間、パスワード以外の設定を変更した場合は、終了する前に確認のメッセージが表示されます。

### Discard Changes

BIOSメニューで設定した変更を破棄し、以前保存したときの値を復旧します。このオプションを選択した後は、確認のメッセージが表示されます。確認のメッセージの表示で「YES」を選択すると変更を取り消し、以前保存したときの値がロードされます。

### Load Setup Defaults

セットアップメニューのそれぞれの値に、初期設定値をロードします。このオプションを選択するか、<F5> を押すと確認画面が表示されます。「YES」を選択して初期設定値をロードします。「Exit & Save Changes」を選択するか、他の変更を行ってから設定を保存します。

